

平成 2 1 年度

第 5 次阿久比町総合計画策定に向けた  
まちづくり懇談会議事録（要約）

# 目 次

I. 懇談会実施概要 .....	1
1. 「総合計画策定に向けたまちづくり懇談会」の開催趣旨 .....	1
2. 開催場所及び日時 .....	1
II. 懇談会議事録（要約） .....	2
1. 宮津公民館（横松・萩・宮津） .....	2
2. 宮津団地老人憩の家（宮津山田・宮津団地・阿久比団地） .....	14
3. 板山公民館（板山・福住・福住園高台） .....	17
4. 白沢区民館（白沢・白沢台・メイツ巽ヶ丘） .....	21
5. 高根台集会所（高根台） .....	25
6. 草木公民館（草木） .....	28
7. 中央公民館本館（坂部・卯之山） .....	32
8. 勤労福祉センター〔エスペランス丸山〕（阿久比・椋岡） .....	37
9. 矢口公民館（矢口・高岡） .....	40
10. 大古根公民館（植・大古根） .....	45
資料：まちづくり懇談会当日配布資料 .....	48

# I. 懇談会実施概要

## 1. 「総合計画策定に向けたまちづくり懇談会」の開催趣旨

今後10年間の阿久比町のまちづくりの基本方針を明らかにする第5次阿久比町総合計画を策定するにあたり、地区や住民の皆さんの幅広いご要望・ご提言をお伺いして、地域の課題や問題点などを計画に反映させていくことと、住民による町政への参画の推進を図ることを目的として、町内10会場で開催した。

## 2. 開催場所及び日時

	行政区	日時	会場
1	横 松 菽 津 宮 津	7月1日(水) 19:00~21:00	宮津公民館
2	宮津山田 宮津団地 阿久比団地	7月3日(金) 19:00~21:00	宮津団地老人憩の家
3	板 山 福 住 福住園高台	7月7日(火) 19:00~21:00	板山公民館
4	白 沢 白 沢 台 メイツ巽ヶ丘	7月8日(水) 19:00~21:00	白沢区民館
5	高 根 台	7月10日(金) 19:00~21:00	高根台集会所
6	草 木	7月14日(火) 19:00~21:00	草木公民館
7	坂 部 卯 之 山	7月16日(木) 19:00~21:00	中央公民館本館
8	阿 久 比 棕 岡	7月17日(金) 19:00~21:00	勤労福祉センター (エスペランス丸山)
9	矢 口 高 岡	7月21日(火) 19:00~21:00	矢口公民館
10	植 古 大 古 根	7月22日(水) 19:00~21:00	大古根公民館

## Ⅱ. 懇談会議事録（要約）

### 1. 宮津公民館（横松・萩・宮津）

#### （1）概要

7月1日（水）19：00～

町側出席者 13名

地区側出席者 24名

#### （2）町政報告

##### ■町長あいさつ

今回のまちづくり懇談会は例年と異なります。例年ですと当面の町行政のことを私からご報告させていただいて、それから地区からのご意見・ご要望に各部長が回答し、その後皆さんとお話しをするという会でありましたが、このたびは阿久比町の第5次総合計画を策定するにあたり、おそらくこの中にもアンケートを書いて提出していただいた方がいらっしゃるかと思いますが、町民の皆さん方の参画をもって第5次総合計画をつくっていきたいということで開催しています。

そのため、もちろん地域での問題もお伺いしますが、これから10年間のまちづくりに対してのお話しをいただきたい。そのために私の話の後、副町長が第5次総合計画についてのあらましを説明させていただき、その後、各部長から阿久比町の現在の状況を説明させていただきたいと思います。

だいたい総合計画というものは、なかなか皆さん方の目に触れることもないかと思いますが、町にとってとても大切なものがございます。つまり、その総合計画によって、この10年間、どういう方向へ阿久比町を向けて進めていくのか、それを進めていくためにはどういうことを行うのか、そういうことを決めていくのが今回の第5次総合計画の策定であります。それを今年・来年の2年間で、平成23年から10年先を見据えた計画をつくりたいと思っていますのでよろしくお願いします。

そして、どのような形で進めるのかと申しますと総合計画策定組織に策定会議というものがあります。先ほど、住民参画ということを行いました。そのためにまず、住民アンケートをこの間実施しました。それからまちづくり懇談会、それからパブリックコメント、意見募集等と進め、会議として町民まちづくり会議というものを開催します。ここへ住民の皆さんに参加していただいて、その中でいろいろなご意見、また、ご指摘等も受けながら、みんなでつくっていきこうという形で進めていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

いつも人口のことを皆さんにご報告していますので、まず、ご報告をさせていただきたいと思います。今年、平成21年1月1日現在の人口、阿久比町は25,049人です。昨年と比べると23人の増加です。そして、世帯数は8,444世帯。これは昨年と比べると145世帯増加しています。ここが不思議なところで、145世帯も増えているのに人口は23人しか増えていないということ。これまでは普通、1世帯あたり3人で計算されてきたと思いますが、23人しか増えていないのはワンルームも1世帯と計算をされるということもあると考えられます。

人口問題を考察するには、人口増減と人口構成を見ていかなければなりません。

これについては、数年前から私がずっとこの会で言っていますが、これは今から考える総合計画の中でも、阿久比町の人口がどういうふうに移っていくのか、それからもう一つは、人口構成がどういうふうになっていくのかということシミュレーションして、それに合ったまちづくりをしていかななくてはならない重要な問題であると考えます。

それから、やはりどうしても現在、高齢化率が非常に心配になりますが、高齢化率は阿久比町全体で 21.72%となっており、昨年と比べるとちょうど1%ほど高齢化率が上がっています。少子化率は 13.89%です。ご多分に漏れず、少子高齢化の社会を迎えなければいけません。そこで非常に心配されているのは介護保険であります。昨年まで知多地区で一番高い介護保険と言われていました。そこで5市5町ありますが、今年改正がありまして、阿久比町は金額を下げることができました。その結果、ほかの市町との集計を見ますと、1番から8番にランクが下がりました。ちなみに金額は3,650円これが介護保険の基準額です。しかし、安いからといってどんどん使えば、次の3年後には保険料は上がってしまいますので、とにかく健康な体づくりということに留意していただきたいと思えます。

最後に、通例ですと今年重点事業をお話しさせていただいていますが、時間がありませんので明日のことをお話しします。明日、例年開催しています、安全・安心まちづくり大会があります。今回はその後、安全・安心パトロール車の出発式を行います。白と黒のツートンカラーでパトカーそのものです。ただ、上が赤ではなくて青いランプがついている、それを各小学校へ配置します。区長さんにはお話ししていますが、各地区で防犯とか交通安全に出掛けるときには、ぜひともその車を使っただいて、まちなかを走っていただく。そうすることによって、まちの安全というものが確保できるのではないかとということで、明日から各学校へ配備をされることとなりますので、皆さん方で、地区でどうかかわりがあってやっていただきたいと思えます。

大変早口でお話をさせていただきましたが、以上、私自身としましては、日ごろから皆さん方にお世話になっているお礼と、ごあいさつと、それから、今、阿久比町がこういうふうに進めていく総合計画についてのお話をさせていただきます、あいさつにかえさせていただきます。今日はどうぞよろしく願いいたします。

## ■総合計画策定について（副町長）

お手元に配付させていただきました第5次阿久比町総合計画の策定について説明をさせていただきます。

はじめに、(1)総合計画の定義ですが、総合計画は、まちづくりの総合的な計画として最も上位に位置づけられる計画であり、総合的、計画的な行政運営を進めていく上で基本的な指針となるものであります。そのため、地方自治法により総合計画の策定が地方自治体に義務づけられているところであります。

総合計画は、自分たちの住んでいる地域を将来どのようなまちにするのか、そのためにはどのような目標を持つのか、そして、その目標を達成するために何をするのかを示すことにより、この方針に沿ってつくられる各分野での個別計画に基づいて具体的な施策や事業を効果的に進めるものです。すなわち、総合計画は、地域に住む人たちが、暮らしやすいまちを実現するためまちづくりの共通理念や共通目標を持って、地域が一体となって取り組んでいくための行動指針であり、国や県などに対して阿久比町のまちづくりの方向を明らかにするものであります。

次に、(2) 総合計画は3本立てですが、総合計画は、基本構想、基本計画と実施計画の3つの計画で構成をされています。基本構想は、まちの特性や住民ニーズの動向、時代の潮流等を総合的に勘案し、まちが目指す将来像と、それを実現するための基本目標及び施策の大綱を示すものです。いわゆる、まちづくりのガイドライン、また戦略的なまちづくり方針をまとめたものであります。

基本計画につきましては、基本構想に基づき今後取り組むべき主要な施策、それを行政の各分野にわたって体系的に定めるものであり、計画期間については、基本構想と同様におおむね10年間の計画を作成するものであります。

そして、実施計画につきましては、基本計画に示した主要施策に基づいて具体的に実施する事業を定めるものであり、事業の優先順位や具体的な事業内容、実施時期、また財源等を明確にすることにより予算編成の指針とするものであります。これは毎年度、ローリング方式により策定をする3カ年の計画です。

2ページ大きな項目、Ⅱあたらしいまちづくりのための、(1) 第5次阿久比町総合計画策定の背景と目的についてご説明します。まず、阿久比町では、昭和57年度を初年度とする第1次総合計画を策定して以来、現在は第4次総合計画に基づきましてまちづくりを進めているところです。

この第4次総合計画は、平成14年度から平成22年度までの長期計画として策定され、「調和の中で豊かに実るまち阿久比」をまちの将来像と掲げ、まちづくりを推進してきたところです。

この間、急速に進行する少子高齢化、金融危機による急激な経済環境の変化、安全・安心への意識の高まり、情報化、国際化の一層の進展、また自然環境保全意識の高まりなど、本町を取り巻く社会、経済情勢は大きく変化し、さまざまな影響をもたらしています。

また一方、行政の分野をみますと、三位一体改革や市町村合併、分権型社会への進展などが今後ますます顕著になるものと考えられ、今まで以上に自律できる自治体づくりに向けた積極的な取り組みが求められているところです。

こうした内外の動向に的確に対応するとともに、安全で安心して暮らせる、そして、安定したまちづくりを基本として、都市的機能を備え、自然に恵まれた、利便性の高い住みよいまちを念頭に置きまして、町民の皆さんと一緒に第5次阿久比町総合計画を策定していく考えであります。

次に、(2) の策定方針ですが、このたびの第5次総合計画は、平成22年11月を目途に計画案を策定します。同じく平成22年12月の阿久比町議会におきまして基本構想案を提案することを目標としています。

計画期間は、基本構想及び基本計画ともに平成23年度から平成32年度までの10年間です。なお、第5次総合計画策定に当たりまして、住民参画、協働のまちづくりを実現するために、より多くの町民の皆さんにまちづくりに関心を持っていただき、また参加していただく機会の拡大に努めています。その方法として、町民まちづくり会議の開催、住民アンケート及びパブリックコメントの実施を計画しました。

①町民まちづくり会議の開催については、第5次総合計画の策定にともない、阿久比町で初めて取り上げました住民参画の方法であります。開催方法ですが、一般公募の皆さんと、現在、各種団体・組織で活躍をしておられます皆さんに参加していただき、生活環境、健康福祉、教育文化、都市基盤及び産業振興の4つの分野別グループを編成していただき、具体的な施策や事業についてワークショップ方式により自由に協議、検討し、町への要望、

提案の取りまとめをしていただくものであります。今年度については8月に、来年度は5月に開催を予定しています。

次に、②まちづくりアンケートについては、これは既に6月中に実施をしており、今回につきましては、2,000人の町民の皆さんにお願いをしたところであります。6月22日に締め切り1,169人の方、回収率は58.5%の状況でございます。アンケートの結果につきましては、今後分析を進め、9月をめどに公表を予定しています。

住民参画の3つ目の項目として、パブリックコメントがあります。パブリックコメントについて簡単に説明しますと、町民の皆さんの町政への参加促進を図るため、町民の皆さんに対する説明責任を果たすことにより公正、公平で開かれた町政の推進を図ることを目的としています。

具体的には、各種行政計画等の素案が策定された時点で、その素案を公表し、町民の皆さんからの意見を参考に計画等を策定するものであり、これまでも障害者福祉計画、耐震改修促進計画、また生涯スポーツ振興計画などの策定にあたり実施してきました。総合計画は、町民の皆さんに最も身近なまちづくりの計画でありますので、このたびにおきましてもパブリックコメントを実施するものです。その時期は来年の平成22年7月を予定しています。なお、総合計画に関するご意見・ご要望がありましたら、メールや郵送等どんな方法でも結構です。いつでも受け付けをしていますので、お気軽に企画財政課へお届け願いたいと思います。

④の情報提供であります。計画策定の状況につきましてはホームページに掲載をしていきますのでご覧いただきたいと思ひます。また、お気づきの点やご質問があればお気軽にお尋ね、ご質問くださるようお願いいたします。

⑤の庁内組織につきましては、今回の第5次総合計画策定にあたり、策定委員会・策定部会・作業部会を設置して、職員全身体制で取り組んでいくということで進めています。

⑥の総合計画審議会ですが、これは町長の諮問機関であり、町長の諮問に応じまして総合計画の策定に関する必要な調査と審議をしていただく機関であります。20人の委員の方を任命させていただき、本年度は2回、来年度は5回程度の開催を予定しています。

⑦の計画書につきましては、議会で議決され次第、速やかにその概要版を印刷して全戸にお届けさせていただき予定をしています。

最後に、(3)この総合計画の策定に向けたまちづくり懇談会の趣旨は、町民の皆さんからまちづくりに関するご要望やご提言を直接お伺いして、それらを計画に反映させていきたいと考えています。本日の懇談会が住民参画の方法のひとつとして有意義な会になることをお願いしまして説明を終わります。

## ■阿久比町の現状について

### <総務部長報告>

総務部は、総務課、防災交通課、企画財政課、税務課の4課を担当しています。

それぞれの業務内容として、まず総務課での主な業務は、条例、規則などの審査や役場内の各部・各課との連絡調整をはじめ、職員の人事管理や職員研修、並びに入札業務などを行っています。特に職員の人事管理につきましては、平成17年度から5ヵ年計画による行政改革で、職員定数214名に対し、平成16年度で202名の職員を186名とする計画策定を行いましたが、今現在、既にこれは計画に達しています。

次に、防災交通課の主な業務の内、交通・防犯対策としましては、交通安全対策並びに防犯対策事業を推進するため、安全・安心パトロール車4台を各小学校に配備して、学校並びに各地区の大字による交通安全の啓発活動や青色パトロール車としての防犯啓発活動にも積極的に活用していただくよう強化に努めるほか、防犯啓発用品の全戸配布を実施します。

消防費につきましては災害に強い町づくりを念頭に、現在、阿久比町では新しい自主防災会に防災委員の創設をお願いしています。4月現在、22地区のうち15地区で創設していただいておりますが、今年度中に全地区で創設していただけるよう積極的に働きかけていく考えています。今後は、複数年にわたって活動していただく、防災委員の皆様を中心に、地区の実状にあった防災計画の作成や防災訓練の企画実施においての助言・指導を行なうとともに、引き続き出前講座等も要請があれば実施していく考えていますのでよろしくお願ひします。

次に、企画財政課につきましては、今回この第5次総合計画を平成21年度と平成22年度で計画策定することが最重要課題と位置づけています。そのため住民アンケート調査をはじめ、今回このようなまちづくり懇談会を開催し、また町民まちづくり会議などを実施して、地域の意見、要望、提言などをしっかりとお聴きしまして計画策定に反映させていきたいと考えていますのでよろしくお願ひします。

次に、阿久比町の財政状況についてご説明しますと、まず人口につきましては平成19年度に25,000人をわずかに超え、以後少しずつ増加しています。ここで平成19年度から平成21年度までの推移を見ますと、本町の一般会計の当初予算額は64億円台から67億円台の規模となっています。歳入面では、地方公共団体が町税や使用料など自主的に収入することができる自主財源比率は74%程度となっており、このうち町税が60%程度を占めています。残り26%程度は依存財源である国・県からの支出金や地方交付税並びに町債などがあります。

一方、歳出面では人件費や扶助費、借りたお金の返済に充てる公債費など、支出がほぼ義務付けられている義務的経費の比率は40%程度となっています。また、道路、橋梁や学校整備など公共施設に係る経費としての投資的経費は8%台となっており、残る52%程度のその他経費は物件費、維持補修費、補助費などがあります。

次に、歳出の中で一番多く支出している経費は民生費で、全体の30%を占めており、約20億円が各種の福祉施策等に使われています。次に多いのは、土木費、教育費、総務費でそれぞれが14%から15%程度の割合を占めています。

次に、町民一人当たりに使われているお金を計算しますと、平成21年度では268,249円となり、町民一人当たりの税金は150,868円となっており、この差額117,381円が国、県からの支出金や地方交付税並びに町債などで充当していることとなります。

次に税務課関係ですが、日本の経済状況について去る6月17日に発表されました内閣府の6月月例経済報告では、景気は厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きが見られるとの判断を示しています。

しかし、現在の経済情勢は、自動車産業をはじめとして多くの企業が営業収益の下方修正を発表しており、特に法人町民税への影響は深刻なものと受け止めています。

また、そのことが雇用情勢の悪化をもたらし、ひいては給与所得の低迷にもつながり、

個人町民税への影響も必至の状況となっています。しかし、このように厳しい財政状況の中、平成 17 年 2 月に策定した自律していくための行政改革をテーマとする阿久比町行政改革大綱に定めた経費の圧縮、行政のスリム化、受益者負担の適正化を柱とし、行政サービスを低下させることなく事務事業の無駄を省き、経費の節減や職員の削減に努めているところでございますのでよろしくお願いいたします。以上、総務部の主な現状をご説明させていただきました。

### <民生部長報告>

民生部関係の現状についてご説明いたします。

民生部には、戸籍事務や社会福祉を担当する住民福祉課、高齢者福祉や介護保険、国民健康保険を担当する保険課、保健予防や環境を担当する環境衛生課があります。

まず住民福祉課ですが一つに戸籍事務があります。阿久比町の人口につきましては、先ほど町長が説明したとおりですが、年齢構成について 10 年前と比較しますと、総人口で 907 人 (3.75%) の増、15 歳未満で 115 人 (3.19%) の減、65 歳以上 1,840 人 (51.01%) の増となっています。このように、特に 65 歳以上の方の増加が著しくなっています。今後につきましても、団塊の世代といわれる人たちが 3 年後には 65 歳に到達することから、その時点から高齢化率は急激に拡大することになります。

次に社会福祉関係です。社会福祉の施策につきましては、地区の民生児童委員の皆様の多大な協力のもと遂行されているところです。

障害者福祉につきましては、自立支援法に基づく制度を活用し、ホームヘルプサービスやショートステイ、補装具の給付等の各種サービスを実施している他、東海市、知多市、東浦町と共同で障害者総合支援センターを設置し、障害者からの相談・支援に対応しています。

児童福祉関係では、保育園につきましては現在町立 5 園、民間 3 園で対応しており、園児数は平成 17 年 4 月 1 日では 610 人でしたが、平成 21 年 4 月 1 日では 562 人と減少しています。また少子化対策としまして、平成 20 年 4 月阿久比スポーツ村に子育て支援センターを設置し、子育て中の保護者の方の相談に応じるなどして支援に努めており、延 14,481 人の方のご利用をいただいています。その他、共働き家庭における児童の健全な育成を目的として、各小学校区に学童保育所を設置しています。

続きまして保険課の関係です。高齢者福祉としましては、地域包括支援センターの設置により相談体制を強化しています。その他配食サービスや緊急通報装置などにより独居の方の安否確認に努めています。また、外出を支援するため、満 70 歳以上の方を対象にタクシーの初乗り料金の助成、閉じこもり防止のための宅老所の開設を行っています。

福祉医療につきましては、障害者や母子家庭に対する医療費助成のほか、小学校卒業までの児童につきましては入・通院ともに、中学生につきましては入院医療費の無料化を実施しているところです。また、平成 17 年度から不妊治療に要する費用に対し助成を行っています。

国民健康保険では、平成 20 年度から始まりました特定健診、いわゆるメタボ健診につきまして、対象者に対し個別通知を差し上げることにより受診率の向上に努めています。このほか人間ドックや脳ドックも実施しています。

介護保険では、平成 20 年度に第 4 期の阿久比町高齢者保健福祉計画を策定し、その計画に沿って事業を進めているところです。この計画につきましては 3 年ごとに見直すこととされており、この中で介護保険料が決められてまいります。なお、平成 21 年 4 月 1 日現在の要介護認定者数は 611 人（11.23%）となっています。

75 歳以上の方を対象としました後期高齢者医療につきましても保険課の担当で、被保険者数は 4 月 1 日で 2,395 人となっています。

これら社会福祉に関します各種サービスにつきましては、各戸に配布しています阿久比町の在宅福祉サービスをご参照ください。

環境衛生課につきましては、まず、保健予防の関係ですが、肺がん検診、胃がん検診といった各種検診や予防接種業務のほか、高齢者の健康増進を目的とした教室や、妊産婦・乳幼児の健康の保持増進を目的とした各種事業を展開しています。また、乳幼児のいる家庭を訪問して発育・発達相談、育児相談を実施しています。

次に、環境関係につきましては地域住民の方々のご協力によるところが非常に大きいものですが、ごみ処理量につきましては、平成 15 年度の 7,728 t をピークに徐々に減少していき、平成 20 年度では 6,666 t（1,062t、86.2%）となっています。資源ごみにつきましては、年度により増減がありますが、ペットボトルだけは大きく伸びていき平成 15 年度の 49,826 kg に対し、平成 20 年度は 67,287 kg（17,461kg、135.04%）になっています。

その他、環境対策としまして、住宅用太陽光発電システムの設置に対し平成 20 年度より補助をしています。また、ごみ減量対策として平成 21 年 5 月 1 日より事業者さんのご賛同をいただきレジ袋の有料化を実施しています。以上で民生部関係の現況についての説明を終わります。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

### <建設部長報告>

建設部は、産業課、建設課、上下水道課を担当しています。

産業課の農業関係につきましては、本町においての水田農業は 5 市 5 町による知多地区水田農業推進協議会及び J A による農業施策の推進をしています。

最近は、担い手の問題、米の生産調整、資材等の高騰など、農業を取り巻く環境は非常に厳しい状況であります。平成 20 年度から行われています、農地を地域で保全していこうとする事業、農地・水・環境保全対策事業には、草木地区と板山地区の 2 地区が取り組みをして地域で保全活動をしています。これからも J A とも協力しながら、農業者、また、農業団体の育成に努め、地産地消等の推進を図りたいと考えています。

また、愛知用水二期事業は、昭和 57 年度に着工され平成 16 年度に完了し、平成 19 年度から 15 年間の償還が始まりました。

ため池整備事業は、宮津地区で県営老朽ため池整備事業により山田池整備工事（平成 21 年度完了）、植地区で県営防災ダム事業として西狐谷池整備工事（平成 21 年度～24 年度）を実施しています。

西部地区の土地基盤整備事業も完了して、平成 12 年までに換地処分も終了しています。新たに 2 地区の土地基盤整備事業を推進していきたいと考え、準備委員会の設立などを進めています。

商工業関係につきましては、現在の経済不況の中、中小企業、緊急経済対策の信用保証料の支援を行い、負担の軽減を図っています。商工会と連携を持ちながら大変厳しい時期ではありますが、商工業の振興に努めています。

町内4カ所の工場団地では、7企業が操業して、1社が未操業であります。なお、デンソー阿久比製作所では、関連企業のデンソーエレクトクス、デンソーウェーブ、また、中部工場団地内の松尾製作所がともに操業を開始して、町内の活性化が図られています。

建設課関係においては、生活道路などの安全対策、維持管理及び整備を進める中、幹線道路の早期完成を県に要望しています。

県道西尾知多線においては、ほぼ全線が完成をしています。県道名古屋半田線は、歩道設置事業を施工中で、早期の完成を目指しています。オアシス大橋の東交差点改良工事も、本年度完了の予定で進めています。平成17年12月には、町道103号線坂部橋の架け替え工事の完成、平成18年1月には東部線の福住地内の開通をいたしました。本年度は、町事業では町道103号線の坂部駅北の踏切の歩道設置事業、町道3196号線、草木地内の農免道路のバイパス（L=450m）の工事に着手をいたします。

河川事業は、順調に工事も進み、現在のところ草木地内で草木川、卯ノ山地内で十ヶ川、高岡地内で前田川の改修が継続して行われています。

土地区画整理事業においては、宮津地区の宮津特定区画整理事業が約90%の出来高で現在施工中であります。また、名鉄の区画整理事業が、平成23年度に完了の予定で進められています。卯坂南部区画整理事業は、本年度から組合設立に向けて調査にはいります。

都市計画の所管する公園は、現在38カ所の公園があります。

上水道事業につきましては、安全で安心な水を安定的に供給を図るため、施設の改善等を行っています。特に草木地域の下水道事業に関連した配水管の布設替えを実施しています。草木配水場においては、平成20年度からは電気設備など操作盤の老朽化に伴う改修を行っています。水道第3期拡張計画に基づき板山地区に第3供給点の建設を本年度から5ヵ年計画で行います。このほか漏水調査等を進め有収率の改善に努め、安定供給に努めます。

下水道事業におきましては、平成元年度から東部地区で工事を始め、平成6年度に供用開始をしています。平成20年度末で280.4haの整備が完了し、人口普及率で71.2%、水洗化率で79.3%であります。平成20年度からは、草木地区の面整備に入り、平成22年度に完了の予定であります。これにより市街化区域のほぼ全域の整備が完了することになります。本年度に下水道検討委員会を設けて、市街化調整区域の272haの整備について今後の調査検討をしていただきます。

今後とも下水道に接続をするようにPRに努め、普及率の向上に努めていきます。

以上で、建設部の現在の進捗状況などについて説明を終わります。

## <教育部長報告>

教育委員会事務局には、学校教育課と社会教育課の2課が設置され、学校教育・社会教育を担当しています。

学校教育の状況としまして、阿久比町には幼稚園1園、小学校4校、中学校1校があり、現在の児童生徒数は、幼稚園130人、小学校1,443人、中学校741人です。10年前の平成

11年の状況は、幼稚園 58 人、小学校 1,478 人、中学校 887 人でした。

平成 15 年度から校舎等の耐震化事業に取り組んでおり、平成 21 年 4 月 1 日現在の耐震化率は 72.7%です。(本年度末見込：90.9%、平成 22 年度末予定：100%)

平成 20 年 4 月 1 日に阿久比スポーツ村クラブハウス 2 階に教育相談センターを開設し、学校教育指導員・スクールカウンセラーと連携を図りながら、小学生・中学生や保護者の相談、学校生活・いじめ・不登校・友達関係・家族への接し方などに応じています。

平成 17 年 10 月に幼保小中一貫教育プロジェクトを立ち上げ、0 歳から 15 歳までを見通した教育を推進しています。また地域の方々のご協力をいただき、子ども見守り隊により登下校時における児童の安全を見守っていただいています。

学校給食センターでは、安全・安心を最優先とし、栄養とバランスのとれたおいしい給食を 1 日当たり約 2,850 食配食しています。

次に、社会教育の状況としまして、子どもから高齢者までを対象とした幅広い教室・講座を企画し充実した内容を提供するため、文化協会・サークル協議会等の団体紹介を含め、生涯学習ガイドブックを発行して情報提供しています。

スポーツ村では、野球場・陸上競技場においては各種大会などが開催されています。また、昨年 10 月にトレーニング室を利用しやすくするためクラブハウス 1 階に移転しました。

次に文化財・自然保護の関係ですが、埋蔵文化財発掘調査で出土した遺物を文化財資料として整理・保管し、出土品の一部を中央公民館本館で展示して、住民意識の高揚を図っています。

板山地区にある板山高根湿地には、シラタマホシクサやハッチョウトンボなどが生息し豊かな湿地環境が残っているため、湿地環境ボランティアにより保全に努めています。

最後に図書館の状況ですが、蔵書数(平成 21 年 3 月 31 日現在)は 103,515 冊で、蔵書構成は、一般書約 70%、児童書約 15%、参考・郷土資料など約 15%となっています。読書指導グループ「ぶんぶん」が、「おはなし会」や「対面読み聞かせ」などを行い子ども読書の推進に努めています。以上、教育委員会の状況につきまして説明を終わらせていただきます。

### (3) 要望・提言など

- ①：県道南粕谷半田線(通称東部線)の車道・歩道を含め、全面再舗装及び街路樹の排除、または植樹の見直しをしてほしい【横松】

答：継続して県へ要望しており、一部の舗装の水たまりを修繕した経過がある。街路樹については今後も要望していきたい。

- ②：横松地区より植大地区への環状線延長を早期に実施してほしい。【横松】

答：環状線の問題については、島田橋にかなりの交通量があり県に強く要望していきたい。

- ③：横松南傾斜面の治山工事の計画的実施について【横松】

答：13カ所の認可された工事区域のうち、のり面が民家等に近接している場所を優先的に

着手し、平成 15 年度には 2 カ所、17 年度、18 年度で 4 カ所の工事を実施している。今年の 5 月ごろの雨で、のり面が壊れたため一部仮復旧を実施し、22 年度に本格的な復旧をすると聞いている。その工事についても毎年県に要望しており、地元の協力もお願いしたい。

**④：市街化区域外の下水道の整備について。【横松】**

答：22 年度で草木地区が終了し、市街化区域のほぼ全域の下水道整備が終了する。今年度に、市街化調整区域の問題を今後どうするか検討委員会を設立し、22 年度末の検討委員会の回答を得て、市街化区域外の下水道整備について方針を決める予定である。

**関連質問：下水道整備の優先順位はどのように決めているのか。**

答：人口が集中する市街化区域を優先して整備してきており、今後検討委員会で、財政負担の問題、地域性の問題も含めて整備の方針を検討していく予定となっている。

**⑤：町道 1076 号線の道路面を現況よりも 20 センチほどでも広くしてもらいたい。【萩】**

答：今年度は、舗装、補修を行う。上の部分の柵の補修の予算を計上している。費用の問題もあるが、区長、地元の意見も踏まえて検討していく。

**関連質問：コンクリートの擁壁がある部分だけでも拡幅をお願いできないか。**

答：現場を確認しながら、また一度担当と十分打ち合わせた上で検討していく。また、連絡したい。

**⑥：防犯灯について宮津地区では急激な住宅増加により数が不足しており、早急に設置計画の見直しを願う。【宮津】**

答：毎年 30 基分の防犯灯設置費を予算計上し、毎年自治会長からの要望申請を審査して設置を決定している。3 基の設置要望が出ているので、町内全体のバランスを見て決定していく。

**関連質問：以前は毎年 36 基の設置ではなかったか。人口が増加しているのになぜ 30 基に減ったのか。年間 30 基の設置という計画自体を見直してほしい。**

答：限られた予算の中で優先順位を決めてバランスを見ながら決定しているので、ご理解をお願いしたい。計画の見直しについてはご要望として受け止める。

**関連質問：街路灯の近くにある防犯灯は移設が可能なのか。**

答：一度現場も見せてもらって、移設ができるなら現在防犯灯がない所へ移設も考えられるので、今後検討する。

**関連質問：防犯灯の設置基準はどうなのか。**

答：夜間において歩行者と自転車による通行者があり、犯罪上問題の生ずるおそれのある場所であること、電柱があること、電力会社や通信事業者の設置許可の見込みがあるというのが条件。また、防犯灯の明かりは20ワットの蛍光灯というのが原則となっている。

**⑦：蟹田川の定期的な土砂上げをお願いしたい。【宮津】**

答：屋郷池からの合流地点までは事業者である名鉄が秋までには対応する話が出来ている。定期的な浚渫については、状況を判断しながらまた見ていきたい。

関連質問：蟹田川の問題も毎回出てくる問題ですから、秋までには間違いはないですか。

答：秋までには事業者が対応する話となっている。

**⑧：計画道路について。区画整理地内の計画道路はいつごろ完成予定か。完成した時点でオアシス大橋東交差点まで出られるか。早急にできないのなら、区画整理内から団地方向へ抜ける道をあけてほしい【宮津】**

答：オアシス大橋東の交差点については、今年度、県等が工事をして、交差点は改修が済む。道路については、用地が終了していないため、今しばらくお待ちいただきたいと思う。現在、宮津土地区画整理事業ということで、事業中の道路であるため、町道認定にはなっていない。区画整理組合で了解していただかないとあけられないためご理解をいただきたいと思う。

**⑨：道路標識、カーブミラーのないところが多数あるため整備してほしい【宮津】**

答：道路標識は公安委員会が管轄する交通規制看板と町で行う注意看板があるが、規制看板については、公安委員会に要望していきたいと思う。カーブミラーについては優先順によって、交通安全対策事業として要望の範囲で考えていきます。

関連質問：カーブミラーは誰が管理するのか。

答：町で設置したカーブミラーは町が管理するが、個人のものであれば個人で責任もって管理をしていただきたい。また、敷地分の植栽で見えにくくなった場合には、地元の協力を得て所有者の方をお願いすることになる。

関連質問：猿子公園の東北角に去年ミラーを設置して欲しいとお願いをしたが設置されていない。その後どうなったのか。

答：区画整理組合と相談の上、回答させていただきたいと思う。

**⑩：温泉、岩盤浴、スポーツジム、喫茶コーナー、図書館機能を備えたミュージアムの建設を願う。【宮津】**

答：本町としては実現困難と考えている。

関連質問：宮津に温泉施設を整備してほしい。

答：整備は困難と思う。また、既存の施設を活用してスポーツ等で健康づくりを進めた方がよいと考えている。

要望：阿久比の象徴的なスポーツを振興してはどうか。

⑪：第4次阿久比町総合計画の達成状況はどうか。

答：人口目標については区画整理の進捗の遅れから達成できていない。また、財政状況により文化ホール、庁舎、それから総合体育館などが整備できなかった。一方で道路関係については、東部線が西尾知多線に接続するなど、道路面に関しては進捗度が高いと評価できる。さらに教育関係では、小中一貫教育やスポーツ村の充実など進めることができた。こうした達成できたもの、できなかったもの、継続するものは継続し、無駄と思うものは廃止していくというような関係で、第5次総合計画を策定していく。

⑫：町政について報告をいただいたが資料として配付してもらえないか。

答：資料を今後できるだけ配布するよう努力していく。

要望：民俗資料館を整備してほしい。

⑬：東部小学校への通学路として蟹田川北側を通れるようにできないか。

答：整備が進み、より安全なルートが確保されれば通学路の変更も考えていきたい。

⑭：水害対策について不安があるが排水ポンプは稼働できるのか。

答：冠水した場合には県と連絡調整して、排水ポンプを稼働させる。また、毎月点検している。

要望：豪雨時に東部線を越える水路があるので改良してほしい。

## 2. 宮津団地老人憩の家（宮津山田・宮津団地・阿久比団地）

### （1）概要

7月3日（金）

町側出席者 13名

地区側出席者 37名

### （2）町政報告

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館を参照）

### （3）要望・提言など

- ①：現在使われていない宮津山田地区にある浄化槽跡地を整地し、有効活用を図ってほしい。【宮津山田】

答：町が現在管理しているが、老朽化により危険箇所もあるため現在封鎖している。仮にこれを撤去する場合に多額の費用がかかるため、今後の研究課題としたい。

- ②：幹線道路の整備について、名鉄開発地内の南北の幹線道路は行き止まりであるが、これを西尾知多線まで開通し、交通緩和を図ってほしい。【宮津山田】

答：町としての計画はあるが、まだ、宮津地内の計画が立っていないため、今後必要な時期が来たら実施の計画が進んでいくことになる。

関連質問：名鉄団地へ行く道路の右側、山田地区の道路は、駐車禁止地区なのか。

答：この道路の名鉄の進入路については、基本的には道路敷という解釈なので、駐車場ではない。

- ③：阿久比町の屋内施設は不足しているため、体育館を建設してほしい。【宮津山田】

答：まちづくりアンケートの情報分析、あるいは町民まちづくり会議の上でこういった提案、提言を検討議題にのせてもらい、総合計画の策定委員会で慎重に検討していきたい。

- ④：公共交通機関として、現在タクシー券が交付されているが、一律で支給されており、車の運転ができない人には不十分である。また自転車に乗るのに便利な交通環境の整備を望む。【宮津山田】

答：タクシー券交付については、何らかの基準を設けていく必要がある。今後は、バス運行も検討していきたい。自転車に便利な交通環境の整備については、今後道路の拡幅等を行っていく中で整備していくこととなる。

- ⑤：多目的グラウンドを確保してほしい。【宮津山田】

答：体育館建設と同様に町民まちづくり会議での検討、総合計画策定委員会で計画の中に

盛り込んでいくのかどうか、慎重に検討をしていきたい。

⑥：団地奥の名鉄団地の造成が進んでいるが、分譲開始はいつごろか。また、最終的にはどの程度の規模になるのか。【宮津団地】

答：分譲開始については、1、2工区合わせて平成24年度ごろまでに約370戸の販売計画とのことである。当初の計画は全体で約930戸となっている。

⑦：名鉄団地へのアクセス道路である宮津保育園前から山田集会所間において、一旦停止表示を検討願いたい。【宮津団地】

答：今回の整備の中で、一旦停止の表示はもう既にされている。

関連質問：保育園前、北は一方通行であるが進入禁止看板が見にくい。改善を望む。

答：一度現地をみて、整備ができるようならば検討したい。

⑧：地震対策において、避難所が富士塚公園のみでは人数規模から見て狭過ぎるため、団地所有地の中央公園グラウンドの避難場所指定を検討してほしい。【宮津団地】

答：地域の防災計画で指定した避難所以外を臨時避難場所として設けることについては、施設の構造面や町職員による運営体制から見て、現在では考えていない。

⑨：駅、病院、団地間の、巡回バスやタクシーなどを将来的に考えてもらえないか。【宮津団地】

答：タクシー券の交付については、何らかの基準を設けていく必要がある。費用対効果とバランスを見てバスの運行も検討していきたい。

⑩：有事の際の防災備品等の備蓄について、資機材、食料品の適正量、また地区と町防災との役割分担等について指導をお願いしたい。【宮津団地】

答：自主防災会の育成補助金とあわせ、自主防災資機材補助金の購入補助金を有効に活用して、必要な資機材の確保に努めていただきたい。また、防災委員を全地区で創設していただき、新しい自主防災会の育成を支援していきたい。

⑪：新たに農産物市場を開設してもらいたい。【阿久比団地】

答：今後、JAなどと協同しながら、第5次総合計画の中で十分検討していきたい。

⑫：医療施設、文化施設、自然博物館などを建設してほしい。【阿久比団地】

答：建設に際しては住民の意見を聞きながら、今後検討していきたい。

⑬：駅東を再開発してほしい。【阿久比団地】

答：阿久比駅東の開発については、第4次総合計画においても、近隣商業系の整備地域ということでの位置づけをされているので、この第5次の総合計画の中でも引き続き検討していきたい。

⑭：集落を結ぶ循環小型バスを運行してほしい。【阿久比団地】

答：今後、総合計画等検討していく中で、費用対効果等を見ながらバスの運行を検討していきたい。

⑮：パブリックコメントとはどういう意味か。また、ホームページのアグピーのマークが見にくい。レジ袋が有料化になったが、そのお金はどこへ流れていくのか。

答：パブリックコメントとは、住民の声を今後の政策事業等に反映していくということ。アグピーについては、住民の意見を取り入れながら検討していきたい。レジ袋の問題については、事業者の協力で行っている。便宜上、店が販売している。

⑯：阿久比町のごみ処理業者を変えないと殺すとか生かすというのは、ただ単に脅しだったのか、それともそれ以後もそういうことがあるのか。また、幼稚園と保育園にあまりに差があるのではないか。

答：男性の声で脅迫めいた電話が入り警察対応をしたが、その後全く何も電話もなく対策本部は閉じられた。幼稚園と保育園については、検討委員会で統合を含め検討していく。

⑰：ポイ捨て条例の制定を提案したい。

答：ポイ捨て条例については今後検討する。

⑱：不審者がいるようなので、不審者対策について、学校、保育園のプールなどで警備、パトロールはしてもらえないのか。

答：不審者については確認する。

要望：この地域の集会施設が狭いので、保育園を年数回でもいいので使わせてもらいたい。

⑲：高齢者福祉に関する問題で、ケアマネジャーは非常に忙しいように見受けられるが、1人あたり何人ぐらい担当しているのか

答：ケアマネの最高担当は30人となっている。

要望：宮津地区にある猿子公園の照明を冬場だけでももう少し早く消灯してもらえないか。また、時計をつけてもらいたい。

⑳：露天でやっている車の解体業について、道路使用等について一度調べてもらいたい。

答：解体の規制はないが道路使用で再三注意している。今後も粘り強く指導していきたい。

### 3. 板山公民館（板山・福住・福住園高台）

#### （1）概要

7月7日（火）

町側出席者 13名

地区側出席者 27名

#### （2）町政報告

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館を参照）

#### （3）要望・提言など

- ①：宮津名鉄分譲地北側の道路から板山内の農業道路を抜けて西尾知多線へ出るための道路の通行量を分散できるような道路整備が必要。【板山】

答：これらの道路について交通安全対策の必要施設があれば、検討していきたい。

関連質問：西尾知多線に関しては、今後、本当に考えてもらいたい。

答：今も検討しているが、公安委員会とも相談しながら何か方法があれば考えていきたい。

関連質問：事故が起きてからでは遅いので、よろしくお願ひしたい。

答：現状の道路で安全対策を検討していきたい。

関連質問：板山から宮津へ行く農免道路の延長の経過の進捗はどうなっているのか。都市計画道路と聞いているが。

答：町道の路線認定はしてあるが、事業計画はたっていない。

関連質問：それでは、今の段階ではまだ夢のうちというぐらいのものか。

答：時期が来ればまた十分検討して、今後の計画を進めたい。交通安全対策は十分やっていきたい。

- ②：高齢者並びに障害者による電動車が安全・安心して通行できる道路が必要。【板山】

答：専用道路をつくるということは非常に難しいが、要望があれば道路の補修の対象にはしていきたい。

関連質問：草がかなり歩道側へ出てきて通れないということがあるが、草を刈ってもらえるのか。

答：町としては草刈りについては年2回やっている。地元で協力をお願いする場合もあるが、できる範囲で対応していきたい。

③：農免道路から半田市へ抜ける県水配水タンク東側を通る道路の整備を進めてほしい。  
【板山】

答：現段階での計画はない。

④：消防車両等が入れない道路の整備をお願いしたい。【板山】

答：完全に整備することは難しいが、幹線道路であれば、できるだけ道路整備に努めていきたい。

⑤：市街化調整区域における公共下水道整備の促進をお願いしたい。【福住】

答：平成 22 年度に草木地区の整備がすべて完了して、それでほとんどの市街化区域の整備が完了する。平成 21 年度から市街化調整区域の整備をどうするかを検討していく。

⑥：東部線の早期全線開通を要望する。また、陽なたの丘と阿久比駅を結ぶ道路並びに阿久比駅近くに駐車場をつくってもらいたい。【福住】

答：東部線の整備については、毎年県へ早期事業化に向けた働きかけをしている。また、阿久比駅近くに駐車場をつくるという件については、第 5 次総合計画の中で、調査、検討していきたい。

⑦：阿久比町を、エコの最先端をゆくまちにしてほしい。【福住】

答：具体的にどういう形にするかはまだ検討段階であるが、環境問題については、今まで以上に取り組んでいきたい。

⑧：スポーツ村の有効活用について、いろいろなイベントを多く開催してほしい。また、オリンピックに出場できるような選手を育ててほしい。【福住】

答：スポーツ村は、数多くの大会、イベントで使用されているが、土曜日、日曜日あるいは祝日に集中している状況である。明日のアスリートの育成を目指して、大いにスポーツ村の利用増進を図っていきたい。

⑨：健康づくりのため阿久比川西堤防をウォーキングコースとして整備してほしい。【福住】

答：愛知県で現在、武豊町を起点として大府市までの知多サイクリングロードを建設するという計画が立てられ、本町では阿久比川堤防を除いた区間はほぼ完成している。

⑩：阿久比町を農業の情報発信するまちにしてほしい。【福住】

答：町としても 4 月の農業まつり、6 月の梅まつり、11 月の産業まつり等の開催を通じて生産者と消費者との交流を図って産業の推進を図っている。今後も、十分 P R に努めていきたい。

**関連質問：**阿久比町を今後どのようなまちにしていくのか、まちづくりの方向性を教えてほしい。

答：その方向性を示すのが総合計画であり、今住民の皆さんのさまざまな考え方をいただき、吸収し、アンケートなどさまざまな事をしていく中で計画をつくり上げていきたい。

**関連質問：**大学と提携して農業を開発するような施設をつくることについて、そういう気はあるのか。

答：この第5次総合計画の中で検討していきたい。

⑪：県中央に阿久比コーナーを設けPRすると、年中集客ができるのではないか。【福住園高台】

答：県に各市町村を紹介するコーナーがありPRを行っている。今後も阿久比町のPR、情報発信に努めていきたい。

⑫：優良企業誘致を目指すのもよいし、よきベッドタウンを目指すのもよいと思う。【福住園高台】

答：第5次計画の中で2カ所の工場用地確保を予定している。今後も工場用地を確保していきたい。

⑬：宮津、陽なたの丘の交通アクセス、ショッピング等将来像を知りたい。【福住園高台】

答：阿久比駅にも特急列車がとまるようになり、乗降客も増えているような状況である。駅前整備、駐車場も一層必要になると思われるので、今度の第5次総合計画の中で検討をしていきたい。

⑭：板山地区内のごみステーションに、カラスよけのハウスのようなものを作ってはどうか。

答：今後の検討課題ではあるが、現段階での実施は不可能。

**関連質問：**ごみステーションの管理者は誰か明確にしてほしい。またハウスにする資材の支給はどうか。

答：地区にもよるが、管理自体は地区でお願いしたいと思っている。ステーションの資材については、また検討させてもらう。

⑮：消防団の団員になる人がいない状況だが、これから町としてはどういう対応をしていくのか。

答：行政協力員会議の後、消防団長さんから勧誘についてお願いをしたり、直接団員の勧誘をしたり広報等でもPRをしている。地区の委員の方からも声をかけたりしていただくとうれしいと思っている。

関連質問：団員たちは一生懸命新入団員を探しているのだが難しい状況であり、皆さんにもよろしくお願ひしたい。

答：町においても機会を見ては広報等でPRします。また、地区においてもよろしくお願ひしたい。

## 4. 白沢区民館（白沢・白沢台・メイツ巽ヶ丘）

### （1）概要

7月8日（水）

町側出席者 13名

地区側出席者 36名

### （2）町政報告

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館を参照）

### （3）要望・提言など

#### ①：町道105号線の道路拡幅（白沢駅東）の今後の予定について【白沢】

答：歩行者の安全を図るため工事を実施する。事業期間は概ね3年ぐらいを予定している。

関連質問：現在、ふた付の側溝整備を進めており通学に便利になるが、その先の東ヶ丘につなぐ道路の見込みについてはどうなっているのか。

答：その先の道路整備は、都市計画道路名古屋半田線で東海市から東浦を経て東ヶ丘を抜けて高根台の西につながる予定となっており、現在、県に要望している。東浦町も要望しているので、道路計画によって先の道路は取付けも変わってくると思う。

関連質問：名古屋半田線の見込みも教えていただきたい。白沢だけが残っていくような感じになりそうだが。

答：知多東浦線までの区間に少し問題があったため長らく採択が遅れていたが東浦町側もよい方向に向かってきたという情報があるので、東浦町と阿久比町で県に早期に執行するように要望しているので、その進捗を見ていただきたいと思う。

#### ②：阿久比町大字白沢字上・下釜ヶ池における土地利用の今後の計画について【白沢】

答：平成21年4月28日付けで民間事業者から宅地開発指導要項の規定に基づく事前協議があり、その概要については次のとおり。事業区域については、住所が白沢字下釜ヶ池から上釜ヶ池地内及び東浦町緒川字組田の一部、8,243平方メートルで市街化区域。事業の目的は戸建住宅用宅地開発で、区域内に6メートル道路を整備し、31区画の戸建用の宅地開発を行うとともに、区域の中には公園用地とごみステーションを整備するという計画となっている。これら公共施設については、阿久比町に帰属し移管される。予定工事期間は8月10日から来年1月31日までで工事中の土砂等の搬入は1日当たり延べ30台の10トンダンプが稼働し、総運搬台数は830台という計画となっている。

#### ③：巽ヶ丘駅周辺の名古屋半田線道路整備計画の今後の予定について【白沢】

答：もともと拡幅計画はない。周辺からの要望も多いことから県から両脇の側溝関係、歩道関係を整備したいという話があり、この件に関しては、地元の地権者にも一度県から

説明をされていると思う。これも関係者が了解していただかないと事業ができないため、関係者が了解された時点で工事に入り、事業期間は概ね2～3年を見込んでいます。今年から来年からかは未定だが整備をするという県からの話がある。

**関連質問：巽ヶ丘駅の踏切は毎年要望が出ていると思うが、道路の拡幅ができないのであれば、踏切部分だけでもきちんと車道と歩道を分離できないか。**

答：駅舎までが阿久比町内で踏切は知多市になるので整備は難しい。

**関連質問：一時停止の場所を半田街道に出るほうの一時停止を川から下へ下げた方がよいと思う。一時停止の場所を知らない人のトラブルが多い。**

答：一時停止の場所の管轄は公安委員会になる。現在、標識が立って一時停止なのか、白線だけなのか、確認の上、知多市にも要請しながら、公安委員会に要望していく。また、1ヶ月以内に進捗を自治会長に回答する。

**④：現在、市街地率は17%と聞いているが、市街地率何%が理想としているか。【白沢台】**

答：現在の市街化区域については416haで、約17.4%となっている。自然が豊かである住環境が阿久比町の自慢であり、宝であると思っている。今後策定する第5次総合計画では、自然と都市型の利便性を兼ね備えたバランスのとれたまちづくりを考え、安定した財源確保も当然必要だが、無秩序な開発に走らずに慎重に進めていきたいと思っている。

**⑤：今後、人口の増減予想はどの程度と考えているか【白沢台】**

答：人口の増減予測については、現在の第4次総合計画策定時の平成12年の国勢調査人口は24,028人、世帯が7,141世帯であった。現在の人口については、平成21年6月1日現在で25,094人、世帯は8,529世帯と、人口で約1,070人、世帯で約1,390世帯の増となっている。全国的に見れば、既に人口のピークは過ぎ、減少しているが、愛知県の人人口将来予測では平成27年がピークでその後減少すると見込んでいる。阿久比町では、アパート等の建設も進み、人口増加傾向にある。また、民間宅地開発等も近年順調に進んでおり、阿久比駅に昨年からは特急も停車することから、今後10年についても人口は増加していくと考えている。

**⑥：今後の工業団地をどの程度拡大したいと考えているか【白沢台】**

答：現在、工業団地は西部地区に土地基盤整備事業により、4カ所の工業団地を確保している。面積については、全部で約58haあるが、そのうち7企業が操業を行っている。現在の第4次総合計画においても、阿久比矢高地区、宮津地区の土地改良事業の中で2地区の整備要請をしている。概算でいけば約30haを工業用地として位置づけているので、今後も、土地改良事業の進捗にあわせて工業用地の確保をして企業誘致を進めていく。

**⑦：高齢者の外出支援として、例えばジャンボタクシーのように予約制の乗り合い長寿タクシーについて導入を考えているか。【白沢台】**

答：高齢者の外出支援として、満70歳以上の方に対してタクシーの初乗り料金の助成をし

ている。また、予約制の乗り合い長寿タクシーについては、急な予約の変更や確保すべき車の制限等問題が多いため、実施を考えていない。また、町内巡回バスについては、タクシー料金助成事業との調整が必要だが、第5次総合計画の中で検討し、ある程度の目安をつけていきたいと考えている。

**⑧：電動車いすが使える歩道、長寿対応の手すり歩道の整備などはできないか。【白沢台】**

答：電動車いすが使える歩道等の整備については、道幅が極めて狭いという状況の中で、車いす専用道路は困難と考える。

**⑨：白沢駅付近を個人医院の集中医療センターとして、どんな病気でも対応できるように医院の増加と駐車場など整備計画はないのか。【白沢台】**

答：集中医療センターについては、大字白沢区地区内に浅井外科をはじめ5つの診療所があり、新規の診療所の開設については、知多全体で診療所数を考える医療圏の問題と医師会での調整が必要となっており、集中医療センター的なものの設置は困難と考えている。すでに阿久比町全体では、医科が18、歯科が10開設しており、精神科関連の診療所がないだけで基本的には医療体制は充実していると考えている。

**⑩：メイツ巽ヶ丘は、半田街道へのルートが悪いので道路整備をお願いしたい【メイツ巽ヶ丘】**

答：駅周辺の道路では、駅の北側の道路と日生から出る道路と2本しかない状況にあり、駅の道路を拡幅するのが非常に困難であることから、都市計画道路名古屋半田線、中央道のボックスから知多東浦線、パチンコ屋の道路まで接続する方法の推進を図っていきたいと考える。これには東浦町と阿久比町の両方で都市計画道路の推進を県に要望していく。

**関連要望：巽ヶ丘駅の踏切は、もうこれ以上よくなれないと考えるべきなのか。また、半田街道へのアクセスは改善できないのか。**

答：拡幅の道が狭いことと、それから線路と県道までの距離が短いという、これも大きな問題があるため、名鉄を高架にするというくらいの規模のことで考えていかないとできない。名鉄の高架化と知多東部線の開通といった大きな事業を、今から知多市、東浦町、阿久比町で連携して対応していく。道路財源がどうなるのか不明な点もあるがそれだけの大きな工事であるということでご了承をいただきたい。

**⑪：高齢者夫婦、ひとり暮らし高齢者が1日楽しめるような娯楽施設の提供をお願いしたい【メイツ巽ヶ丘】**

答：お年寄りが楽しく1日を過ごしていただくために、現在、4小学校区に1カ所ずつ宅老所を開設しており、気軽にご利用いただければと思っている。また、施設の新設は考えていない。財政的にほかの施設を優先したいという部分もあり、高齢者のための施設ということでは考えていない。なお、各地区地元の集会所や公民館を利用して、カラオケとか婦人部の活動をしているところはかなりあるため、そうした活動をひろめていくことも今後の高齢化社会を考えた上で重要なことではないかと考えている。

**関連質問：**ある過疎のまちでは孤独死が多く、それを解消するのに、ボランティア活動などに取り組んでいると聞く。阿久比町での孤独死というデータは出ているのか。

答：特別にデータというものはないが、私が承知している孤独死といわれるような件数は3件で、1件は40代、あとの2件については高齢者でした。

**関連質問：**宅老所と保育園を併設してはどうか。

答：保育園の統合の検討をしており、新しくやる場合などそういうことも1つのアイデアとしてはよいと考える。

**関連質問：**宅老という名前がよくないと思うが。

答：印象のよい名前ではないので検討していく。

**⑫：阿久比町の市町村合併への姿勢について【白沢台】**

答：合併についてはそこに住む人が、よいと思える合併をしなければと思う。

**⑬：阿久比町への脅迫事件について**

答：脅迫電話直後に対策本部を立ち上げて対応を進めたが、その後電話の脅迫等は来っていない。現在、対策本部は解散したが、警察は情報収集等捜査を続けている。

**⑭：白沢区民館で日中の12時から1時まで、午後の5時から7時半ごろまで管理者が不在になる件について**

答：区民館、町立の公民館については指定管理者制度を導入して、地区に運営管理を任せられている。

**関連質問：**町の施設なのに町は関係しないというのはおかしいと思うが。また、指定管理者制度について説明をお願いしたい。

答：指定管理者制度は、数年前に新しくできた制度であり、3～4年前に指定管理者制度を活用して、阿久比町と大字、あるいは自治会と指定管理者制度の契約を結んで管理運営を行っている。その指定期間の3年が期間満了し、改めて更新の手続を行っている。指定管理者を指定するには、議会の議決要件になっており、議会の議決を受け、地区に管理運営をお願いしている。

**⑮：長野県下條村へ視察に行ってはどうか。**

答：貴重な税金を無駄遣いするなという事は十分承知している。行革も進めている。権限委譲という名のもと国・県からどんどん仕事が降りてきて、制度も急変して職員も大変であるが頑張っている。今後も研究して無駄は無くしていく。

## 5. 高根台集会所（高根台）

### （1）概要

7月10日（金）

町側出席者 13名

地区側出席者 29名

### （2）町政報告

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館を参照）

### （3）要望・提言など

#### ①：高齢者、無免許者等の外出手段の確保をお願いしたい【高根台】

答：循環バスの運行については、平成13年度と平成14年度の2カ年にわたり、循環バス運行検討委員会を設けて検討し、循環バスを実施するにはやはり多額な費用がかかることから高齢者タクシー料金助成事業に力を入れてきた。しかし、今後ますます高齢化人口の進む中、タクシー券交付については、やはり何らかの基準を設ける必要が出てくるため費用対効果など今後バランスを見ながら循環バス運行も検討していきたいと考える。

関連質問：有料でもかまわないので高齢者の外出手段の確保をお願いしたい。

答：何らかの基準を設けて、タクシー券交付とともにバス運行も一緒に研究をしていく。

関連質問：バスの運行ニーズは高いと思うので検討をお願いしたい。

答：循環バス運行は住民の関心の強い事項だということで認識しているので、何らかの形の検討をしていく。

関連質問：いつまでに巡回バスの検討結果が出るのか。

答：高齢者の外出手段の確保は、第5次総合計画の中での最重要課題だと認識している。タクシー券助成も評価をされる部分もある。循環バスの運行については財政的な面ではいけない段階に来ていると認識しているので、少なくとも試行運転を実施して、成果を検証して徹底的に考えていきたい。

#### ②：市町合併推進について【高根台】

答：合併については、スケールメリット等を考えなければならず、町を左右する極めて重要な問題であるので、これは慎重に対処していきたいと考えている。なお、知多5市5町で現在構成をしている知多地区広域行政圏協議会において「知多は一つ」という理念から将来的な合併に向けての検討を含め、さまざまな課題を広域連携により推進をしていく考えである。

#### ③：企業誘致条件の見直しを含め、積極的な誘致を。【高根台】

答：第4次総合計画においても、阿久比矢高地区土地改良事業、宮津地区の土地改良事業の2カ所の土地改良の中で約30haの工業用地の確保を図っている。今後ともそういう土地改良事業の中で工業用地の確保と企業誘致を図る。

**④：4小学校を2小学校に統合し、校舎の改築、学校運営の効率化を【高根台】**

答：学級数の文部科学省基準でみると、1学年2から3クラスが適正規模だと掲げている。現在での4小学校はほぼ適正の規模なので、統廃合を検討する考えはない。

**⑤：介護施設、長期入所、ショートステイ、デイサービスなどが容易に利用できるよう町支援の拡大を【高根台】**

答：介護保険のサービスについては介護保険事業計画を策定し、その中で対応している。介護サービスの充実については、民間の事業者が実施しているため町が支援を行うことはない。また、サービスを容易に利用できるように地域包括支援センターと連絡を密にして対応している。介護保険施設については、知多5市5町において施設が必要かどうかを協議して整備している。

**⑥：共同経営、農場集約の推進など、農業施策の今後の取り組みを明確にしてほしい【高根台】**

答：町内の農家が相互に連携を図り、営農活動の実践を行い、農業振興に向けた活動をしている。また、農業団体の育成に現在努めている。町内には産地直売所が3カ所ほどあり、知多農産物直売研究会を組織して魅力ある農産物の販売を進めている。さらに生産者と消費者の交流を図って、地産地消の推進をしているところである。第5次総合計画の中でも研究していきたいと考えている。

**⑦：高根台中央公園の夜間使用制限をお願いしたい【高根台】**

答：有料施設や管理人が駐在する施設では管理できるが、管理者の問題もあり一般的な児童公園では夜間の使用制限は難しい。

関連質問：時間的な制限が無理であれば、公園の入口、出口に看板を立てることはできるのか。

答：看板については検討していく。

**⑧：福住交差点に歩道橋を設置してほしい。**

答：大きな交差点であり、設置に対しては十分に検討した上で県に要望していきたい。

**⑨：高根台の団地を、違法駐車をなくして、当団地をモデル地域にしようということ。違法駐車をなくすためにモデル地区にしたらどうか。**

答：地元でご判断いただいて要望があれば、公安委員会へ要請等をかけていきたいと思う。

⑩：公園へのペットの進入を許可してほしい。

答：自治会で話し合っ調整をしていただきたいと思います。

⑪：都市計画道路の進捗についてはどうなっているのか。第5次の10年計画の中では完成できそうか。

答：早期事業化を東浦町と一緒に県に要望している。

⑫：防犯灯の増設について自治会でポールを立てれば設置は可能なのか。

答：今ある電柱に設置するのが基本であるが、仮設のポールで設置可能か一度現地を確認してから相談したい。

⑬：阿久比町は単独でこの先やっていけるのか。

答：将来的には知多半島で全域での合併というものが進んで行くと考えているが、今はまだその段階ではないので、自主財源を確保して、健全財政を目指して、今は自立できる体制が確立できていると思っている。

⑭：廃油のリサイクルを知多半島なり広域連合で展開することも検討してほしい。

答：東海市、半田市も取り組んでおり、単独では無理であると考えてるので、広域でやれるものであるならば、一緒になって研究していきたいと思っている。

⑮：巽ヶ丘駅東の都市計画はどうなっていくのか。

答：駅東に31戸の民間開発の計画がある。踏切改修は難しい。名古屋半田線を最優先に考えている。

⑯：総合計画の中に町民憲章の思いを入れていれたい。

答：町民憲章の思いを反映したまちづくりを考えていく。

## 6. 草木公民館（草木）

### （1）概要

7月14日（火）

町側出席者 13名

地区側出席者 18名

### （2）町政報告

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館を参照）

### （3）要望・提言など

- ①：草木地区の主要道路、西尾知多線及び草木金沢線の朝夕の渋滞が甚だしい。本年度になって、デンソーウェーブの進出などにより、さらに渋滞が増した。将来を見据えた阿久比町としての交通対策を検討、実施していただきたい。【草木】

答：草木金沢線については、一部歩道設置がされていないため、県に引き続き要望している。農免道路の急カーブの解消を図るということで、デンソーからのバイパス工事について、本年度から4年間の予定で工事を実施する。草木岩滑線については土地区画整理事業、土地改良事業にあわせて道路整備を進めていきたいと考えている。

- ②草木地内の昭和橋を拡幅し、また草木金沢線を拡幅し、白沢八幡線に結んでいただきたい。【草木】

答：生活道路については、下水道、水道工事に伴う舗装、復旧工事等を進めているが、ご要望の昭和橋の拡幅については、現在のところは考えていないが白沢八幡線との関連について今後検討が必要かと思う。

- ③：草木岩滑線の構想を阿久比西部線の構想に改め、早期に実現していただきたい【草木】

答：草木岩滑線については、現在、その名称変更については考えていない。

- ④：高齢者に対しタクシーチケット制度があり、一部の人には利用されているが、多くの人は利用していないと思われる。利用しやすく、環境への配慮からも、コミュニティバスの導入を検討してほしい。【草木】

答：循環バスの運行については、平成13年度と平成14年度の2カ年にわたり、循環バス運行検討委員会を設けて検討し、循環バスを実施するにはやはり多額な費用がかかることから高齢者タクシー料金助成事業に力を入れてきた。しかし、今後ますます高齢化人口の進む中、タクシー券助成については、やはり何らかの基準を設ける必要が出てくるため費用対効果など今後バランスを見ながら循環バス運行も検討していきたいと考える。

関連質問：タクシーチケットの利用率はどうなっているのか。

答：昨年の実績では対象者の約42%（1,525人）から申請があり、延べ利用回数について

は、およそ 19,000 回でしたので、1 人当たり 12.4 回程度使用していると考えられる。

**関連質問：タクシーチケットの申し込み方法は**

答：年齢が 70 歳になられた方については身分証を持参頂ければ、年 1 回即日お渡ししている。初めて申請する方は、身分証を作成するため写真 1 枚を持参ください。

⑤：新庁舎の建設時に合わせて、総合的な駐車場計画を検討、実施していただきたい。具体的には、役場南の矢高横川線から阿久比神社までを公共施設用地及び駐車場としてご検討いただきたい。【草木】

答：庁舎、駐車場を含めた総合的な建設計画を次の第 5 次総合計画の中で、住民の皆さんの多くのご意見を伺いながら検討していく。

⑥：名鉄阿久比駅周辺は一日中混雑し、交通事故の発生しやすい状況にある。緩和に向け、東西両方向からの乗り入れ可能な阿久比駅構想を検討、実施していただきたい。【草木】

答：名鉄阿久比駅前については、平成 12 年に町施行の土地区画整理事業により整備が完了した。第 5 次総合計画の中でまた調査検討していきたいと考えている。

**関連質問：阿久比駅の東側の人々が東側から出入りができれば、半田街道の渋滞が解消できるのでは。**

答：阿久比川と線路のところへ道を、橋をつけて東の人たちが東口から入れるようなことができるのかどうかというのは、研究していきたいと思う。

**関連質問：阿久比駅東側の開発人口はどのくらいを見込んでいるのか。それによって東口の開発の必要性もあるのでは。また、駐車場の整備も必要では。**

答：名鉄の区画整理事業の当初計画では約 900 戸の計画で進めている。5 年間で少なくとも 200 戸、最終的には 400 戸近く販売される予定である。

⑦：死亡届など役場の窓口対応が他自治体と比較して遅いのでは。

答：システムや確認の問題かと思われるが主管課に確認する。

**提言：町民から総合計画の基本理念をどうしていこうかという部分をお聞きいただくのはありがたい。しかし、町当局が、10 年先をどういうふうに見据えて、どういう施策を持っていくかという根本理念を持たない限り、問題が解決されないまま平成 32 年を迎えてしまうのでは。**

⑧：外部の人に、もっと阿久比町を知ってもらえるような、また阿久比町に住みたくなるような施策が必要ではないか。

答：第 5 次総合計画は、阿久比町の魅力を生かした、だれもが住みたくなるようなまちづくりの計画を策定していきたいと考えている。また、あわせて、豊かな自然に恵まれた

阿久比町のPRについても、情報発信に今後とも努めていきたいと思っている。

要望：電車等で阿久比を通る方、それから中央道なんかで阿久比を通過してインターで一回休む、そういう阿久比に関連する方がかなりみえると思うが、そういう方々にも阿久比はいいな、一回住んでみたいな、そう思われるようなPRを十分考えていただきたい。

⑨：阿久比インターの決定経緯は

答：インターができたのは昭和45年度でその当時、知多半島道路が全線開通したと思う。都市計画道路7路線というものは、昭和41年にこの阿久比町の衣浦西部都市計画区域として7路線が決定されているので、その当時からまず県道の名古屋半田線のバイパスとして、都市計画道のバイパスが位置づけられた。それから、知多中央道がもう一つのバイパスとして位置づけられて知多半島道路ができたものですから、昭和40年代前半に構想ができてからと思う。

⑩：下水道工事後の道路の仮復旧状態が非常に悪いので工事業者に指導してほしい。

答：下水の工事に関する道路復旧工事、これは工事の中に仮復旧まで入れてあり、現在行っている本復旧工事は夏、8月には全域終わると思う。工事の仮復旧については多くの方からご指摘をいただきまして、業者にもきつく指導はしている。

⑪：学校教育の場に外国人教師の採用をお願いしたい。

答：英語教育の関連で、小学校、中学校にALTという形で、小学校1名、中学校1名を採用して、講師として指導してもらっている。また、ポルトガル語とかスペイン語、スペイン語に対応できる日本人教師を県で採用して、各市町に派遣をしている。

⑫：10年後の農業従事者の年齢構成を考えて農業振興策を考えるべき。また、休耕田対策を進めるべき。

答：休耕田や遊休農地の解消については難しい問題であり、特に市街化の問題、ここ最近の生産調整の厳しさの問題などがある。また、担い手が非常に少ない地域もあるので農業委員と連携しながら、町としてもなかなか難しい点があるので、いろんな方の意見を聞きながら、今後この第5次の総合計画においても、何らかの形で示していきたいと考えている。

⑬：町で毎年1回ずつ水質検査を実施していると聞いているが、今年の結果はどうなっているのか。

答：区長に結果を送るようにする。

⑭：吸着マットに油が付着しているので、油の流出を止めてほしい。また、切子が農免道路に広がっていることがある。

答：県の環境と話をしして指導していく。その油が流出しているということであれば対応する。

## 7. 中央公民館本館（坂部・卯之山）

### （1）概要

7月16日（木）

町側出席者 13名

地区側出席者 28名

### （2）町政報告

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館を参照）

### （3）要望・提言など

#### ①：卯坂、丸ノ内、城山地区の市街化と土地区画整理の実施について。【坂部】

答：町全体において未利用地といえる土地区画整理事業の予定地は3カ所ある。その辺の整理も必要かと思うが、いずれにしてもこの地域は第4次総合計画の土地利用構想では住居系の整備地域としているため、引き続き第5次総合計画の中でも調査検討していきたいと考えている。

#### ②：住民健康診査について、特定健康診査、従来の住民健診を社会保険加入者にも受診可能にしていきたい。また、乳がん検診の対象年齢を40歳以下に引き下げていただきたい。【坂部】

答：社会保険の加入者に対する実施については、法律の定めるところにより基本的には実施は困難と考えている。次に、乳がん検診の実施は厚生労働省の指針の中に40歳以上とされていること、予算等の関係もあるが、若い年齢層にあったエコー検査という方法も含め第5次総合計画の期間内に検討していきたいと思う。

**関連質問：**阿久比町では特定健康診査を広域の医療機関に委託している。そこへ加入すれば社会保険でも受診可能である。東浦町では社会保険で受診券をつくり、その受診券を利用して受診できるようになっている。阿久比町でも医療機関と契約をすれば社会保険の加入者も受けられるはず。社会保険の企業が費用を負担することで可能になると思う。なぜ実施しないのか。

答：東浦町は個別健診といい、東浦町と医療機関で契約しているというケースもある。阿久比町の場合は、集団健診という形で、保健センターで日程を決めて実施している。社会保険の人も、おそらく医療機関との契約に基づき、そのような形でやっていると思われる。逆に社会保険のほうが、医療機関に行き、受診券を提出して受診できるのではないかと考えている。

**関連質問：**従来の町による住民検査を受けたい人もいると思うが。

答：社会保険の保険者が阿久比町に対し、個人ではなく保険者が阿久比町に対して委託という手続をとれば可能になってくると思う。個人の立場ではなく、義務づけられている保険者同士の流れなので、社会保険であれば社会保険事務所が阿久比町に対して被保険者からの住民健診の希望を聞くという形と思われる。

関連質問：それとは違う説明を東芝健康保険組合で受けた。町に依頼するようにと聞いた。

答：こちらでは理解できない。東芝健康保険組合に確認する。東芝健康保険組合から阿久比町へ委託があれば検討をするが現実的には保険者の義務なのでできない。

③：通学路の安全確保について。小学生の通学路の安全確保のために通学路表示の色分け、横断歩道の識別表示等の改善をしていただきたい。また、知原岬キャッスルハイツと桜屋間に横断歩道マークをつくってほしい。【坂部】

答：桜屋と知原岬キャッスルハイツの横断歩道マークは、従来の足跡マーク等であれば防災交通課と各学校単位、PTA関係、団体等で検討したいと思う。横断歩道の識別マークとはどのようなものか聞きたい。

関連質問：キャッスルハイツと桜屋間に横断歩道がないため整備してほしい。警察と協議して整備してほしい。北側には歩道がない。

答：北側には歩道がなく、桜屋側に歩道があるということと、信号の距離が近いということがある。横断歩道は公安委員会の管轄なので要望はしていきたいと思うが、基本的に近距離、待避場所がないと横断歩道の整備は難しい。

関連質問：北側に歩道を整備できればと思う。

答：南側は区画整理事業で若干の歩道ができるが、用地の確保等が非常に難しいと思う。駅にも歩道を整備することになっている。

関連質問：駅も両側に歩道を整備すれば横断歩道をつくらなくてもよいのでは。

答：両側に歩道を整備する用地がないため、店舗がある南側だけ歩道整備する。

関連質問：キャッスルハイツの方面の人は県道の横断歩道まで戻らなければならない。

答：戻って横断してほしい。

関連質問：普通の状況では守らないと考えられる。それでは無理な横断をしてしまうので危険ではないか。

答：状況を説明し、公安委員会に要望を提出する。

関連質問：通学路の横断歩道の識別表示について、通学路であるという表示を強調させるようにしてほしい。

答：路側帯、2車線道路の歩道のない路側帯にグリーンや赤で線を引くという方法を検討している。昨年は河川堤防で50m程度、グリーンで線を引いた。今後検討していきたい。

関連質問：焼山地区の団地には横断歩道がない。公安委員会は横断歩道整備できないということだったが知恵を絞れば可能だと思うので要望しておきたい。

答：要望しておきます。

④：公園施設の整備、拡充について。公園が少なく、遊具も安全性の確保のため撤去されてきている。子どもたちに楽しい遊び場を確保していただきたい。焼山公園の整備、充実を希望する。【坂部】

答：現在、町の都市計画で管理する公園数は町全体で30カ所あり、地元の協力を得ながら公園の管理に努めている。公園の設置は、用地の確保、位置等の問題があり、難しい問題である。新しく公園をつくる場合は地元の協力をお願いしなければならない。焼山公園の設備の整備と充実について、現在ブランコ、すべり台、鉄棒、砂場等があるが、それ以外の要望も実現したい。狭い公園なので今後検討していきたいと考えている。

関連質問：以前、城山公園の遊具が安全性を考え撤去された。【坂部】

答：城山公園は町の管理ではなく児童遊園なのでほぼ地元管理だと思われる。

関連質問：城山公園は地元で全く管理できていない。遠方の北側の公園で遊ばせるには親も保護できず非常に危ない。南側には以前、ジャングルジム等の遊具があったが撤去された。子どもが遊ぶことができる公園がないので、城山公園を39ヶ所目の指定公園にしてほしい。住職と話をしてもらい、ぜひ進めていただきたい。【坂部】

答：現在の状況では、町の公園として指定できない。

関連質問：子どもの遊び場として焼山公園をきれいにしてほしい。【坂部】

答：町で公園を管理するのは困難なため、通常の維持管理を地元をお願いしている。遊具に関する安全点検は、これは1カ月から2カ月おきに点検はやっている。また現地を確認しながら検討する。

⑤：環境美化活動の実施状況について。坂部駅西公園などのごみの散らかしが多く見られます。定期的に清掃されているが、不十分のようです。駐輪場の見回りとの連携はどうか。【坂部】

答：坂部駅西の公園ということで、ごみの清掃は月に2回ほど、それから自転車等の監視役と駐車場内の整理を週2回、これは7時から8時半という形でシルバーに委託をして行っている。委託時間内であれば合わせてやっていく。

⑥：資源ごみの空き缶盗難に何かよい対策はないか。【坂部】

答：空き缶盗難への具体的な対策というのはないのが現状である。それぞれ地区の実情に応じて対策をしてほしい。

⑦：病後児保育で働くお母さん支援のお願いです。核家族化により子供を保育園にあずけて正社員として働く両親が増えてきており、年少児は病気にかかることが多く休暇がとりにくい状況にあり回復期に病後児保育で支援していただきたい。【坂部】

答：病後児保育を実施する場合は、医療機関との連携が不可欠である。現段階では困難だが、総合計画の中でどのようにとらえていくか検討していきたいと思っている。

⑧：危険表示板の見直しについて。焼山池の立ち入り禁止表示をわかりやすくしていただきたい。【坂部】

答：基本的には地元でお願いしたい。町にあるものは提供します。

⑨：丸ノ内等市街化計画について。丸ノ内、二反田、城山地区、県道東側から名鉄線路西側の市街化区域への編入をお願いします。【卯之山】

答：地権者の同意のもと調整していく。

⑩：卯之山児童公園のトイレ水洗化について。現在はくみ取り式なので臭い。また、衛生上よくないので、早期に浄化槽方式の水洗トイレにしていきたい。【卯之山】

答：トイレのない公園もあるのであわせて検討する。また、卯之山児童公園については市外化調整区域にあるので、市街化区域の下水道が整備完了した後に整備方法を検討していく。

関連質問：卯之山児童公園の利用者が多い。少年野球もよく利用しているので水洗化をお願いしたい。下水道整備までではなく小さいものでいいので浄化槽で早期検討願いたい。

答：トイレのない公園もあるのであわせて検討する。公園規模にあった整備をしなければならない。

⑪：市街化区域に隣接した調整区域の下水道使用可能化の検討をお願いします。【卯之山】

答：平成22年度で市街化区域の整備が終了するので、市街化区域の隣接地、全体をどうするか検討委員会で検討する。

関連質問：知多市では隣接区域で下水道が利用可能だが。

答：他市町の状況を見ながら検討していきたいと思う。

⑫：林谷、八神等の市街化計画について、当地区の継続をお願いいたします。【卯之山】

答：場所としてはインターの東で道路の条件もよいので、第5次総合計画の中で検討させていただきたいと思う。

⑬：名古屋半田線の拡幅はいつまでやっているのか。

答：代替地が見つかればすぐに着手できる。県も推進しており、交差点の改良もしている。

⑭：農免道路を舗装して通学路として指定できないか。

答：通学路は教育委員会とともに検討していく。

⑮：植大にごんぎつねのところから一の草にかけて、バイパスがいつまでたってもこれが進捗していないが。

答：環状線は名鉄、堤防、県道との関連があるので整備が難しい。県へ早期事業化を要望している。

⑯：グラウンドについて、スポーツ少年団に入っているのに優先されないというのはどうなのかと思ひまして、何か優先的にとれる方法はないか。

答：利用枠を午前、午後という単位から2時間づつに変更するなど予約の枠を考える必要を感じる。

⑰：坂部橋の道路は右折禁止なのに右折する車が多いので対策を

答：現地を見て対応を考える。

⑱：マスタープランに平成32年人口28,100人とあるが、10年間で3,000人増やす根拠は。

答：名鉄の板山・宮津で900戸の開発を見込んでおり、1戸あたり家族が3人として2,700人～3,000人の増加が見込まれる。また、卯之山、白沢の開発もある。なお、団塊の世代が高齢者となるので、人口の年齢構成が問題になるといったことを踏まえて第5次総合計画を策定していく。

## 8. 勤労福祉センター〔エスペランス丸山〕（阿久比・棕岡）

### （1）概要

7月17日（金）

町側出席者 13名

地区側出席者 17名

### （2）町政報告

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館を参照）

### （3）要望・提言など

- ①：町内の公共施設を巡回する乗り合いタクシー、またはバスの運行の実施をお願いしたい。【阿久比】

答：循環バスの運行については、平成13年度・平成14年度の2カ年にわたり、循環バス運行検討委員会を設けて検討し、循環バスを実施するにはやはり多額な費用がかかることから、高齢者タクシー料金助成事業に力を入れてきた。しかし、今後ますます高齢化人口の進む中、タクシー券助成については、やはり何らかの基準を設ける必要が出てくるため、費用対効果など今後バランスを見ながら循環バス運行も検討していきたいと考える。

- ②：今後、団塊世代のリタイアが急速に進む中で、家庭菜園のあっせんをして、田畑を持たない人に対しても農作物を栽培できる喜び、難しさを体験することによる生きがいづくりを進める。町内にある耕作されずに放置された農地の活用ができる。【阿久比】

答：農地の活用に対しては、家庭菜園としての活用や今後就農を計画する方、農地を貸し借りする制度上の問題、それから地権者の問題もあるので、農業委員会でいろいろな提案を検討して耕作放棄地の活用を図っていききたいと考えている。また、JAあいちにより、ふれあい農園として家庭菜園づくりの仕組みが白沢地区と板山地区の2カ所にある。耕作放棄地については、農業委員会において調査し、耕作の指導を行いつつありますが、なかなかその解消というのは難しい問題があります。

- ③：阿久比町は名鉄電車がまちの南北に通っているため、東西に分断されている。このため、現在高架橋で大型車両が通行できるのは2カ所（阿久比高架橋・英比地区、オアシス大橋・阿久比地区）で、南部地区のアピタ阿久比店の北側、前田川に沿って徳吉橋から県道名古屋半田線の万栄橋に至る高架橋の建設か、鉄道の高架を要望します。【阿久比】

答：徳吉橋から万栄橋に至る道路の建設ですが、この路線については現在の都市計画道路矢高横川線に認定替えをしているので、この矢高横川線の早期完成を推進していきたいと考えている。アピタの環状線については、早期の事業化について関係機関に対し要望しているところである。

関連質問：万栄橋は広くなる予定はあるのか。また、島田橋もすごく狭い。その辺の計画

はどうなっているのか。

答：万栄橋については、現在拡幅の計画はない。島田橋については、半田市一の草から来る環状線を延伸する予定で県に要望している。

関連質問：万栄橋について整備を考えてください。

答：今のところ環状線の早期完成ということで、東西のルートはオアシス大橋と西尾知多3本立てという形になっている。

関連質問：アピタの出入りの車というのは非常に多く。あそこの橋は、ほんとうに一刻も早く広げていただかないと、必ずあそこは事故が起きる道だと思う。

答：県の考え方も阿久比町も環状線を早くつくること。それによって緩和されるのではないかな。万栄橋の交通量が多い事は十分認識している。

④：棕岡踏切周辺で、何回も浸水災害が発生している。排水溝が小さいため、上から一気に流れてきた水があふれ、浸水の原因になっている。排水設備の見直しで、安心、安全に住めるまちづくりを考えてほしい【棕岡】

答：鉄道を横断している現在の管については、600ミリというような管で管渠がされている。管路の勾配の問題もあり、十分検討していきたいと考えている。

関連質問：町から名鉄とかその関係者に連絡をとってもらい、流れをよくしてもらいたい。

答：現地の確認をさせていただいて対処する。

関連質問：管径を大きくして欲しいということを経前から要望しているが、名鉄側の下なので難しいという話であるが、歩行者も車も通れなくなるので対処してほしい。

答：調査して検討していく。

関連質問：管理委託先から、こういった報告が上がって来るのかお聞かせいただきたい。

答：農業用水維持管理協議会を設立して地元の協力を得て管理をしている。協議会で対応できないものは、町でも実施、確認している。役員の方から写真とかを提出してもらい確認している。

⑤：名鉄東の農道アピタ道路で、アピタオープンと同時に車が2台すれ違えるよう道を広げてもらっているが、交通量が多く、歩行者及び自転車通行者がいると狭く、ハッとする。アピタ通りと県道の三叉路で右に曲がるとき、左右の交通量が多く、間に合うと思いきや事故が発生しているので、信号機の設置と道幅を広げてほしい。【棕岡】

答：県道へ出るところの三叉路に信号機の設置については、公安委員会に要望していきたいと考えている。

⑥：横松・萩方面からアピタへ車で行くときは、一方通行の狭い橋を渡り、曲がりくねった狭い道を走りアピタに行き、帰りは北側に一方通行の狭い道を通るが、自転車通行者が入ってくるので接触する危険性がある。一の草通りから阿久比川まで完成しているので、橋をかけ道路をつくれば常滑方面へも便利になるので、ぜひ開通してほしい。【棕岡】

答：早期の事業化ということを県に要望している。

⑦：名鉄棕岡変電所北側とガード手前の道路が破損しかけているし、少し強い雨が降ると、マンホールから水があふれ道路が水浸しになり、車の通行量も多く、歩行者に水がかかるので改善してほしい。【棕岡】

答：マンホール周囲や北側の土手から水が出てくるような状況であるので、何らかの方法で改善するような検討をしている。

関連質問：改善の大体めどとしてどれぐらいの期間を考えられておるのかを、ぜひお聞かせいただきたい。

答：今回の水のわき出るのは、舗装面の下の暗渠、それから北側の側溝をつくることで改善をしたい。今年度中、もしできなければ来年と考えている。

⑧：防犯灯の整備を要請したが設置されない。

答：防犯灯は5月末までに各地区から要望を出して頂いている。全部現地確認して、設置基準を満し、決められた予算の中で優先順位を決めて整備している。

⑨：第4次総合計画の達成状況について

答：人口目標については区画整理の進捗の遅れから達成できていない。また、財政状況により文化ホール、庁舎、それから総合体育館などが整備できなかった。一方で、道路関係については、東部線が西尾知多線に接続するなど、道路面に関しては進捗度が高いと評価できる。さらに、教育関係では小中一貫教育やスポーツ村の充実など進めることができた。こうした達成できたもの、できなかったもの、継続するものは継続し、無駄と思うものは廃止していく、新たな行政課題があれば検討して盛くんでいくというような関係で、第5次総合計画を策定していく。

⑩：阿久比駅から役場を含めて、阿久比の顔の整備をどう考えているか。

答：土地利用の中で、阿久比の顔となる阿久比駅と役場については重要課題の一つとして位置づけている。駅の東からオアシスセンターの一角、こちらの役場、中学校に至るまでを何とか市街化の中へ入れることができないか模索しており、阿久比駅から県道のあたりを全部市街化にすることも、今度の総合計画の中で検討していく。

⑪：アピタの西側の交差点処理のあの赤い色というのは地域の住民が申し出たのか。

答：交通安全対策の一環として県が施行したもので、死亡事故があったところに関して、色を塗って注意を喚起させている。道路交通法であれが何色ということは決まっていない。また、町から要望は出していない。

## 9. 矢口公民館（矢口・高岡）

### （1）概要

7月21日（火）

町側出席者 13名

地区側出席者 23名

### （2）町政報告

同趣旨のため省略（1. 宮津公民館を参照）

### （3）要望・提言など

#### ①：町立図書館の駐車場は狭く、今後拡張する計画はあるのか。【矢口】

答：現在、38台分の駐車場があるが、土曜・日曜日は駐車場に入ることができないこともある。適当な土地があれば、駐車場として整備したいと考えている。

#### ②：図書館への県道からの出入り口が狭いので、信号機を設置する予定はあるのか。【矢口】

答：出入り口が狭いということで、信号機のご要望については、毎年、公安委員会へ要望しているが、現在、県道部分の工事が途中で交差点の形態がまだ完成していないため信号機設置は今のところは難しい。今年度と来年度で県道部分と西側の町道部分の出入り口を2車線にする整備を進めていく予定であり、再度この件について、半田警察署を通じて公安委員会へ要望していく。

#### ③：図書館を移転する予定はないか。例えば丸山公園、スポーツ村への移転はどうか【矢口】

答：図書館の移転については、現在の周辺環境は図書館にふさわしいところであると考えているので、現在のところ移転の計画はない。

#### ④：大字矢口の重要な出入り口である丸新商店前の交差点に、信号機設置をお願いしたい。なぜか丸山公園から椋岡八幡神社への三叉路交差点には信号機がついている。当方は車両の出入り、また、人の横断が多いので、ぜひ早急をお願いしたい【矢口】

答：区長からの要望等をいただいて、半田署を通じて公安委員会に要望していく。

関連質問：特に春の新四国の参拝のときに、高岡の札所に参加して、丸新の前をそのまま平泉寺に横断していく参拝者が非常に多い。そうしたことから丸新の前の信号機は特に重要であるので信号の設置を強く要望する。

関連質問：公安委員会の設置基準があるがどうなっているのか。

答：愛知県の枠があり、その中で半田署の設置個数の枠があると考えられる。各地区、半田署管内それぞれの市、町が危険箇所への設置要望をしているが、その中の優先順位と

いうのはおそらく妥当な基準を設けて設置していると考え。

⑤：矢口公園維持管理について、水はけが悪く、雑草、コケもついて、滑りやすく危険な状態であるので、表面を削るか、砂の入れかえをお願いします。【矢口】

答：矢口公園について全面改修は考えていない。砂を入れて水がたまらないようにするといった要望を区長より提出いただければ対応する。資材の要望をお願いしたい。

⑥：長年要望している矢口公民館から掘り割りを通り、直線で高岡前の県道まで抜ける道路整備を要望しているが、いろいろな事情で進展しない様子なので、まず先に、学童の通学路整備を進めていただきたい。【矢口】

答：矢口から高岡に出るところの通称・掘り割り町道 5180 号線のところだが、昨年度もこの拡幅整備の問題も出ていた。また、通学路について、現地に行きまして見てはいるが、区長と話し合い、何らかの道路整備が必要であれば対応したいと考えている。

関連質問：当面は通学路ということは、それなりの理由があると思うが、やはり根本的な問題は、高岡前の掘り割りへ通すことだろうと思うので、そういう視点で、これは町がリードをとって矢口と高岡の用地買収等も含めた調整をお願いしたい。

答：両区長とも話しながら対応していきたいと考えている。

⑦：先日のゲリラ豪雨災害訓練時に取り上げたのですが、公民館北側水路は広くなっているが、鈴木純平宅前から道路を横断している管が細いので、豪雨になればあふれ出て、冠水する可能性がある。また、同様に丸山公園から中部保育園までの西側水路が狭く、新海徳一宅東南角から道路を横断している管も細いので、速やかに改善をお願いします【矢口】

答：要望カ所の改修断面を大きくすると下流部の問題が出てくる。下流部に影響の出ない体制も検討していきたいと思うが、想定外の雨量になると現状の水路では受け切れない場合が出てくると考えられる。また、そうした場合、道路からの水流で住宅等が冠水しないようできる限り対応していきたいと考えているので、そういう危険な場所があれば解消していきたい。ご要望の箇所についても下流域の水量断面もあるので、これ以上改修ができるか今後とも検討していきたい。

⑧：半田市も市民税を 10%減税する公約を打ち出しているが本町も進めてほしい。実現を希望します【矢口】

答：名古屋市長に続いて、隣の半田市も公約で掲げており、本当にできるのか当然関心がある。阿久比町の個人町民税については、20 年度の決算では 16 億 1,321 万 9,000 円、したがって 10%は 1 億 6,132 万 1,000 円と歳入が減少するため、歳出の部分をカットしていく必要がでてくる。また、このようなことを実施すれば、当然、国、県から阿久比町へいろいろな面でペナルティーがかかってくるのが想定される。健全な財政を維持するためには、やはり今の段階で検討する時期ではないと考えている。

⑨：阿久比の玄関・阿久比駅にエレベーターの設置を。少子高齢社会を目前に控え、人に優しいまちづくりを目指し、阿久比駅にエレベーターを設置してほしい【高岡】

答：名古屋鉄道では、バリアフリー新法に基づき、対象駅から段差解消や障害者対応型トイレ等の整備等を進めてきている。しかし、阿久比駅については、現在、乗降客が5,000人未満である状況から今のところ整備計画の予定はない。町としても、乗降客の状況を見ながら、バリアフリー化の実現を名古屋鉄道について要望していきたいと考えている。

関連質問：町内でも白沢駅、坂部駅、植大駅は全部バリアフリーになって非常によくなっている。自動改札化に伴って改修されたことについて、特急停車駅になった阿久比駅が全く見送られたことについて、町はどのように考えているのか。

答：今の形態が半地下方式で、降りていって階段、また階段というような形で、ほんとうにバリアフリー化にはほど遠いような状況である。そういうような状況から今度改修するときには、おそらく上をつくってエレベーターをつけていかなければいけないような状況である。早期改善できるよう要望していきたい。

関連質問：阿久比町としては、阿久比駅はまちの玄関であるので、高齢者や子ども、妊婦の方も安心して利用できるように積極的に働きかけてほしい。

答：バリアフリー化、要はエレベーターとトイレということですが、それを早くしたいということは同じ気持ちである。今度の総合計画においても優先的に考えていきたいと思うし、名鉄に対しても町としての要望として出していく。

⑩：阿久比谷虫供養について、平成18年度の懇談会で、町の文化財である虫供養を守り続けていくための具体的な方法について、保存会と考えていくと答えているが、どのような話し合いがなされたのか【高岡】

答：平成18年度の大字阿久比の区長さんよりお話があり、行政協力員会の終了後に13地区の話し合いが持たれました。その中で、虫供養の掛け軸の修理が課題という話があり、平成19年度に阿久比地区で一幅修理をさせていただいている。山越阿弥陀如来掛け軸の表装の修理でした。今後もまた協議する事案等があれば、このような機会を設けていきたいと思うので、早めに教育委員会に申し出ていただくようお願いしたい。

関連質問：今後も虫供養を伝承していくためには掛け軸の改修だけでなく、保存会への支援を町として考えてほしい。

答：当然、歴史と伝統のあるこの虫供養行事については、阿久比町としても1つの大切な行事であると考えている。13地区に対して町として少しでも役立てることがあれば、前向きに検討したいと思っているのでよろしくお願ひしたいと思う。

⑪：阿久比矢高土地改良事業について、町は前回の計画を踏まえて、阿久比矢高土地改良事業の意義をどのように位置づけしているのか。また、推進に当たっての課題は何か。【高岡】

答：阿久比矢高土地改良事業については、第4次総合計画の中で農業系整備地域として位置づけされている。その中で、土地基盤整備事業を推進し、農業生産基盤の確立を図る

ものである。再度、地区の役員を決定し、準備委員会の設立に向かって再開したところですが、地権者の方の理解と協力ができない事業である。今後、準備委員会の中で事業手法、課題などを整理・検討していただきたいと考えている。

**要望：**今の阿久比矢高地区の土地整備について、今度、準備委員会があるということですが、そのときに町長さんにぜひ出席いただいて、町長さんの取り組む姿勢をひとつ述べていただきたいと思っているので、要望しておきます。返事は要りません。

⑫：半島を代表する数少ない常緑広葉樹林があるが、この貴重な自然を残し、生かした事業となるよう期待したいが、町の考えを伺いたい。【高岡】

答：箭比神社周辺のことかと思うが、常緑広葉樹林など貴重な動植物の保存については、その事業効果に応じて、残すものは残していくということで、皆さんと協議しながら区域設定をしていきたいと考えている。

⑬：県道南粕谷半田線は高岡区民の生活道路、極めて危険度の高いこの道路を点検し、町民が安全で安心して生活できるよう、道路改良の整備や自動車の低速走行対策を実施されるよう、県に要望してほしい。【高岡】

答：県道認定してあります都市計画道路矢高横川線、県道南粕谷半田線の早期の事業化を県に要望していききたいというのが町の考え方であり、引き続き県に要望していく。

⑭：今の県道が町へ移管されるものなら、やはり今のうちにある程度直すところは直す、改良するところは改良するように、町のほうから県に働きかけていただきたいと思う。

答：交通量の問題を県等にも提起して、できる範囲の改善を要望していききたいと思う。

⑮：前田川河川左岸堤町道 5195 線に防護柵の設置と舗装工事の実施を、県道の狭隘で、通過車両が多く危険であるため、砂田橋から阿屋免橋までの間は平成 20 年度で河川改修工事が完了した。通学路として児童が使用しているので、早急に対応を。【高岡】

答：20 年度の改修が終わったところです。いずれにしても今年度の予算では、今のところ整備には至っておりません。今後とも予算の範囲で整備をしていきます。

⑯：徳吉橋から梶目橋の間、アピタへの連絡道路として歩行者、自転車利用者が、最近特に増加しているということである。【高岡】

答：徳吉橋から梶目橋の間は、今年の 3 月の議会におきまして、町道認定をしていますので今後予算の範囲内で整備していききたいと思っている。

**関連質問：**砂田橋から阿屋免橋の間は、概算ではガードレールと舗装をやったら幾らになるのか。徳吉橋から梶目橋まで防護柵等と舗装をやったら、幾らかかるか試算して補正予算でやっていただけるのか。

答：検討させていただきたい。

⑰：町内河川の堤防が通学路になっているところも多いので整備をきちんとしてほしい。

【高岡】

答：いずれにしても、通学路ということで安全第一であるので、予算を要望して検討していきたいと考えているので、よろしくお願いします。

⑱：1つ目は第5次総合計画の策定について、現状の財政状況等々を踏まえて手づくりで内容のいいものをつくってもらいたい。住民の意見を反映させてもらいたい。機会があればパブリックコメントを活用したいと思う。2つ目は介護保険料について、介護保険料を下げたというが、第2期の策定時の見通しが甘かったのではないかと思う。そのときの責任者の責任はどうなるのか。3つ目は行政改革というのは一体何なのか。もっと皆さんでいろいろな意見を聞きながら、的確にそれをとらえてやっていただくことが、町長はじめ、町幹部の皆さんの役割でなはないかと思う。とりあえず今の3点のことについて改めて企画財政課長さんに発言内容を書いたものをお渡ししますので、回答をいただけるようお願いをしておきたいと思う。

答：後で回答する。

⑲：南部小学校を移転する計画があるのか

答：校舎の面積、校庭の面積については国の定める基準は満たしており、現状では移転の計画は持っていません。

⑳：デンソーをはじめとして、中部や南部の土地改良区の中に企業が立地されましたが、関係企業で町税の収入がどれ程あるのか参考までに。

答：デンソーだけではなく町全体での法人税割は大体2億円。100年に一度の不景気で昨年より1億3千万円減額になった。その他に固定資産税がある。

## 10. 大古根公民館（植・大古根）

### （1）概要

7月22日（水）

町側出席者 13名

地区側出席者 25名

### （2）町政報告

同趣旨のため省略（宮津公民館を参照）

### （3）要望・提言など

#### ①：植公園（子ども達の遊び場）、権現山、西狐谷池（中の池）、矢勝川（彼岸花）周辺の総合的な公園整備について【植】

答：総合的な公園としての一体的な整備は難しいと考える。それぞれの施設を踏まえた区の公園周辺としての面から、第5次総合計画の中でも公園計画を踏まえて検討してく。

関連要望：岩滑地区の彼岸花を植えようという活動をしている NPO 法人も見学に来た。矢勝川から権現山を一体化した整備をして欲しい。

答：施設の中にいろいろな宗教的なものがあると、町としては、公園として位置づけは難しい状況にあるので、その辺のご理解をいただきたい

関連質問：総合的な公園は難しいが、五郷社とか中の池など個々に整備を進めていく予定はあるのか。

答：総合的な公園というのは、もっと大規模にいろいろな遊具施設とか散歩道とか、概ね総合公園でいきますと10haなので、かなりの面積が必要となる。植公園は、公園と神社と一体になっており、神社を除いた区域での都市公園ということで指定してある。そういうことから、例えば中の池、西狐谷池についても堤体の改修という形で、池全体の公園整備ということは今のところは考えていない。

#### ②：植公園の水洗トイレ、遊具（築25年）の整備について【植】

答：植公園は町でも一番初めにできたくらいの公園で遊具なども老朽化しているかもしれない。現在、町には38カ所の公園があり、地元の協力を得ながら、管理もしている。遊具に関しては、要望があれば改修について区長を通じて出していただければ検討する。トイレについては、まだトイレのない公園もあるため、あわせて検討していきたいと考えている。

#### ③：高齢者の宅老所の建設について【植】

答：現在、宅老所は町内4小学校区に1カ所ずつ開設しており、そのうち2カ所は老人憩の家、他の2カ所は借家を利用して活動している。各宅老所はボランティアで運営され

ており、宅老所を設置する場合には、運営していくボランティア団体が必要となっている。また、活動場所としては、既存の宅老所のように町の施設や借家の活用を考えているので、新たに施設をつくることは考えていない。しかし、新規の開設については、第5次総合計画の中で充実させたいと思っている。

**④：道路整備（草木から一期一会までを南吉記念館の道路、東西の横松で止まっている環状線の道路延長）について【植】**

答：草木岩滑線については、阿久比高校まではできているが、その先がまだ事業的には未着手となっている。今後とも土地改良などの事業とあわせて整備を考えている。東西の環状線については早期事業化を県に要望しており、今後とも引き続き早期の事業化を要望していく。

**⑤：阿久比町内の神社・仏閣めぐりのパンフレット及び整備について【植】**

答：既存の資料として「あぐいタウンマップ」等を発行しており、タウンマップの中に神社・仏閣等の位置も表示されている。また、平成6年に発行した「阿久比のあゆみ」また阿久比町誌、資料編の中で神社・仏閣を紹介しており、この町史は一般に販売している。こうした既存の資料があるため、現在のところ新たに神社・仏閣めぐりのパンフレット等の作成をする予定はない。

**⑥：野崎信号交差点より東側、名鉄線路までの間の市街化区域への編入について【大古根】**

答：野崎信号から東側の名鉄線路の間については、第4次総合計画の中で、農業系整備地域に位置づけている。市街化区域への編入は、地権者の同意とともに、その整備手法が明確でないと市街化区域には編入できないため、具体的な整備の手法が決まった段階で検討に入ることになる。また、第5次総合計画の中での位置づけも重要であるので、今後、住宅地としての構想に入れるような形で第5次総合計画の中で検討していく。

**⑦：植大駅周辺の駐輪場等の整備について【大古根】**

答：植大駅周辺の駐輪場の整備については、整備計画を町としては持っていない。駐輪場を整備するなら名鉄の用地と想定されるので、今後、名鉄とも協議しながら進めていきたいと考えている。

**⑧：環状線の早期実現について【大古根】**

答：環状線の早期実現については、今回の懇談会でもその要請は多い。島田橋の関係や万栄橋の交通量の問題もあり、環状線の早期実現は重要な課題と考えている。今後とも引き続き早期の事業化を県に要望していく。

**⑨：蓮慶寺下の榊原農材と榎本理容の間の横断歩道への押しボタン式の信号を設置してほしい。**

答：ご要望の信号機の設置は半田署に要望はしているが、他の信号との距離の問題があり、実現できていない。信号の設置基準があり、駅前の信号と野崎の信号が近いいため、設置

ができないということ、植の人口も増えているため、今後、強く要請はしていく。

⑩：野崎の交差点から西へ約 100 メートルの道路南側の草刈り幅が中途半端な件について

答：道路の草刈りについては、幹線道路、通学路を主体にして草刈りを委託して実施している。道路状況により草刈りの幅を区別しているため、融通がきかない点もある。ご意見をいただければ業者への指示など対応する。また、草刈りについて地元にもお願いしたいと思っている。

⑪：岩滑新田に行く農免道路の信号機周辺の土砂堆積の解消について

答：道路に関する問題に関してできるだけ区長さんから連絡いただきたい。危険な状態などは場所が明確であれば現状を確認に行く。その状況によっては、区長さんから申請を出していただくなどの対応をしていく。

⑫：中の池、西狐谷の西側から雑草や竹が道路を覆ってくる。2 トン車だと支障があるほど。東海市の方の山であるので町に連絡すれば地主に連絡して対応してもらえるのか

答：地主の関係もあるため難しいが、道路の通行上障害になる場合があれば、町が地主に対応を依頼・連絡する場合もある。すべて町で対応というわけにはいかないため、区長さんから対応をお願いする場合もある。まずは現場を確認する。

⑬：学校での運動会などでの禁煙やアルコールの持ち込みを緩和してほしい。

答：緩和はできないが、地域と連携した学校づくりを支援したいと考えている。

⑭：白沢グラウンドのテニス場（Aコート）のネットについて

答：早速、現場を確認して対応する。